夕　子（ゆうこ）

鏡子（きょうこ）

健太郎（けんたろう）

謎の赤ン坊

明　子（あきこ）

鏡子は大きな屋敷で、兄の健太郎と二人でくらしていた。健太郎が結婚して、夕子さんが家にきた。三人の生活がはじまり、鏡子は幸せだった。

しかし、科学者の健太郎が実験に失敗した夜から、屋敷の中で、奇怪な事件が連続して起こるようになった。

兄の失綜、そして、どこからともなく現われた謎の赤ン坊は……。

恐怖シリーズ

吸血蟻人

西たけろう

恐怖シリーズ

吸血蟻人（きゅうけつがじん）

西たけろう

レモンコミックス

立風書房

恐怖シリーズ

レモンコミックス

立風書房

0271－R1312－8909

390円

レモンコミックス〈恐怖シリーズ〉

恐怖のオオカミ少女	古賀新一
悪霊！きつね屋敷	古賀新一
白ヘビ少女の呪い	浜　慎二
吸血少女カレン	浜　慎二
学校で夜、幽霊が！	浜　慎二
幽霊少女の謎	黒田みのる
呪いの幽霊城	黒田みのる
幽霊少女エリす	黒田みのる
少女エクソシスト	黒田みのる
続少女エクソシスト	黒田みのる
さやかと和香	森由岐子
吸血蟻人	西たけろう
夜歩く死体	北沢しげる
呪いの肌襦	好美のぼる
恐怖！四次元の町	日野日出志
魔女がくる館	ムッシュー田中
ロビズオーメン	ムッシュー田中
マクンバ	いけうち誠一
くらやみクラブ	いけうち誠一

レモン・コミックス〈恐怖シリーズ〉
吸血蟻人
0271－R1312－8909　390円

昭和52年6月15日　第一刷発行
昭和54年9月15日　第七刷発行
著者　西たけろう
発行者　下野博
発行所　(株)立風書房
東京都品川区東五反田3-6-18
電話（03）447－1191(代)
振替口座　東京5－74493
印刷所　(株)美術版画社

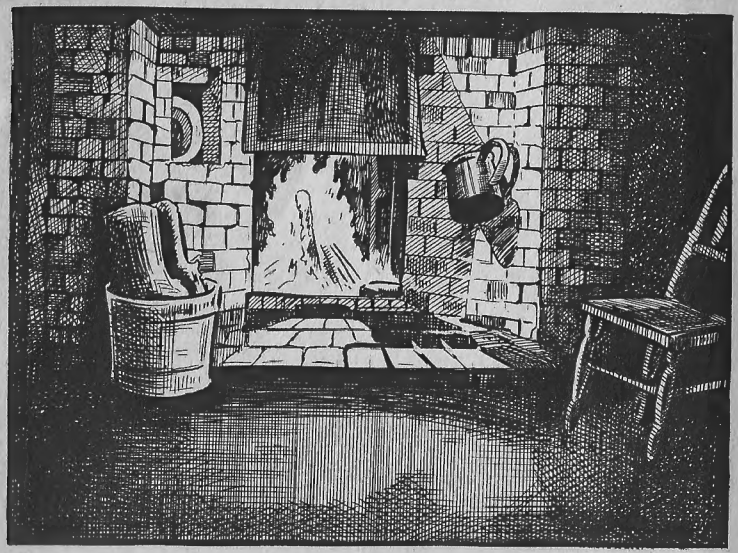
© Takero Nishi 1978

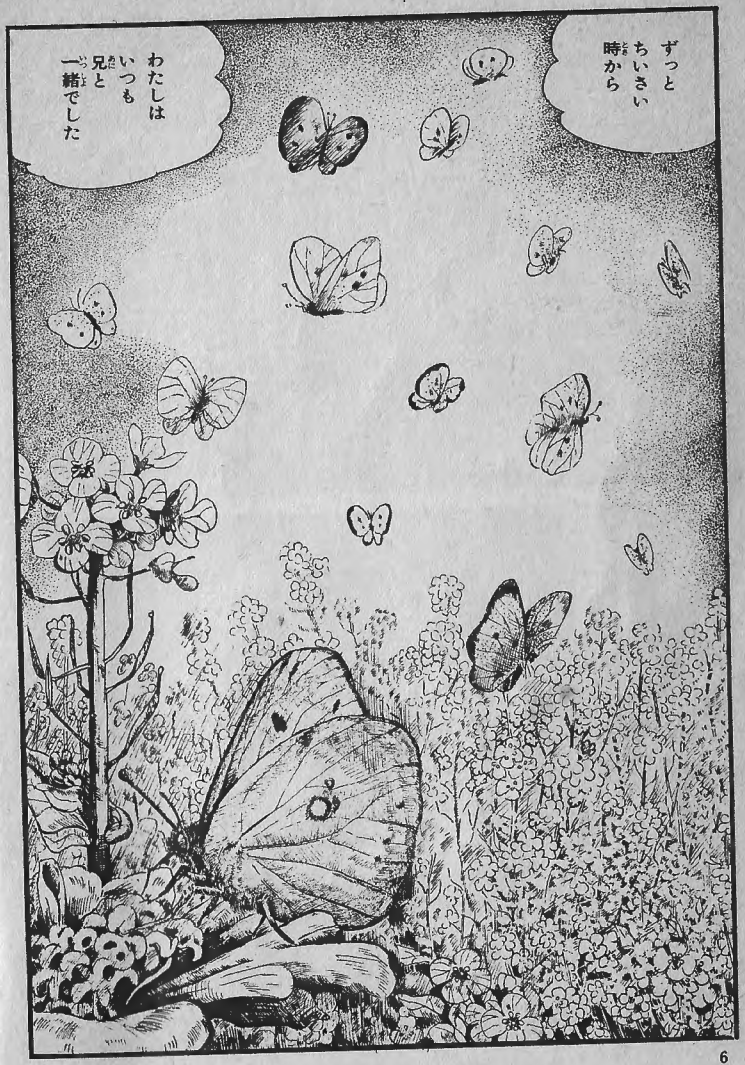
本書についてのご意見ご質問は「恐怖シリーズ編集部」あてにおよせ下さい。

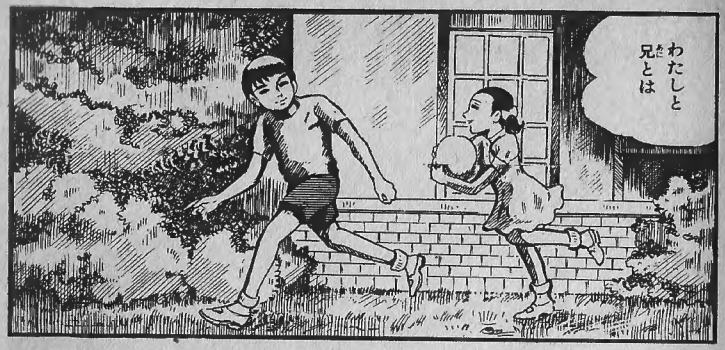
乱丁・落丁本はお取替えします。

●定価は変更になることがあります●

吸血蛾人
西たけろう

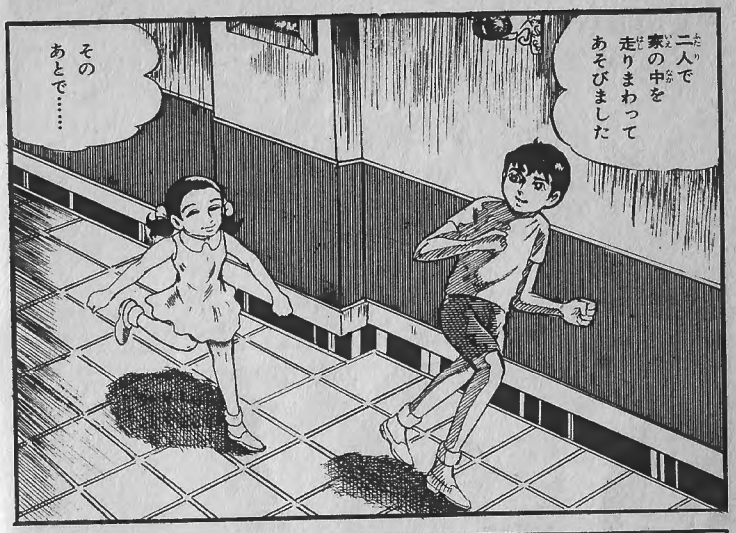



ずっと
ちいさい
時から
わたしは
いつも
兄と
一緒でした


わたしと
兄とは

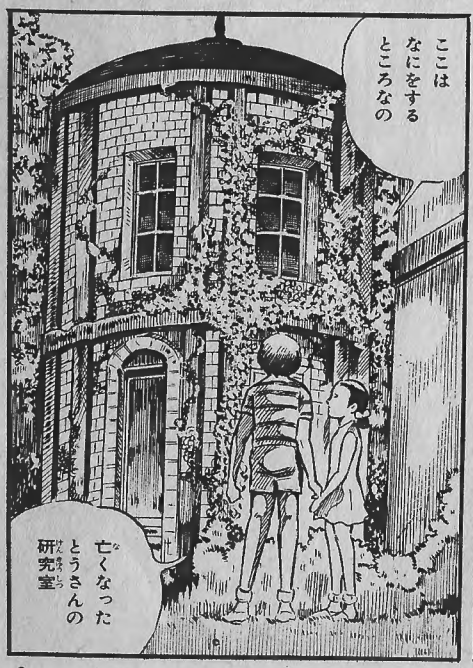
年令は
ずいぶん
はなれて
いましたが

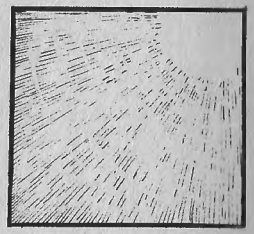
兄は
わたしを
たいへん
かわいがって
くれました


二人で家の中を走りまわってあそびました
そのあとで……

兄はピアノを弾いたり
歌をうたったりしてくれました

あそびつかれたわたしは
兄の歌をききながらねむってしまうのです


ここはなにをするところなの
亡くなったとうさんの研究室

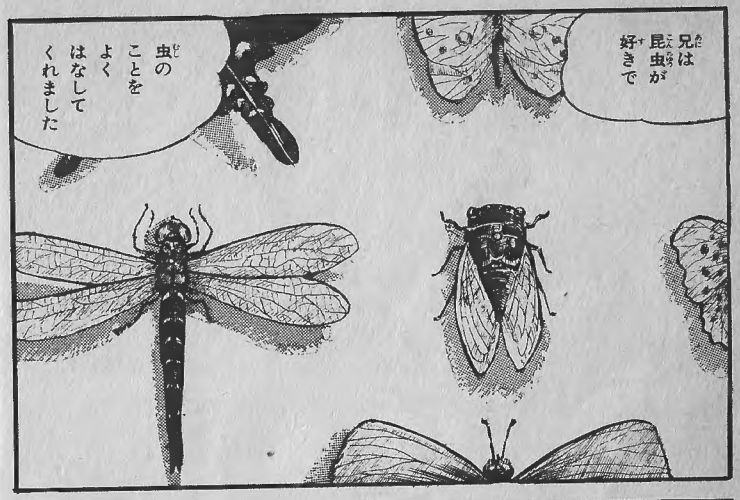


ぼくも
おとなに
なったら
科学者に
なるんだ

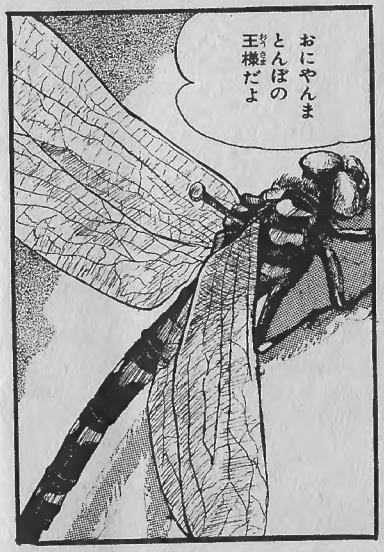
わたし
たちの
両親は
自動車
事故で
死んで
いました

ミイイイ
ミイイイ

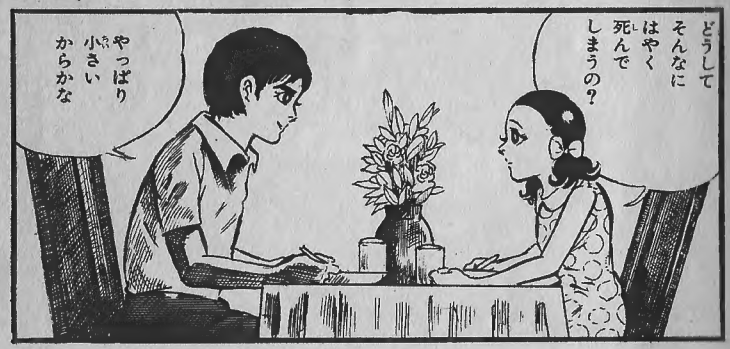
イー
イイー


兄は昆虫が好きで
虫のことをよくはなしてくれました

トンボ
カブト虫
黄アゲハ
黒アゲハ
……
これは？


おにやんま
とんぼの
王様だよ

虫はその
ほとんどが
じゅみょうが
みじかくて
かげろう
なんかは
一日しか
生きられ
ないんだよ


どうして
そんなに
はやく
死んで
しまうの？
やっぱり
小さい
からかな

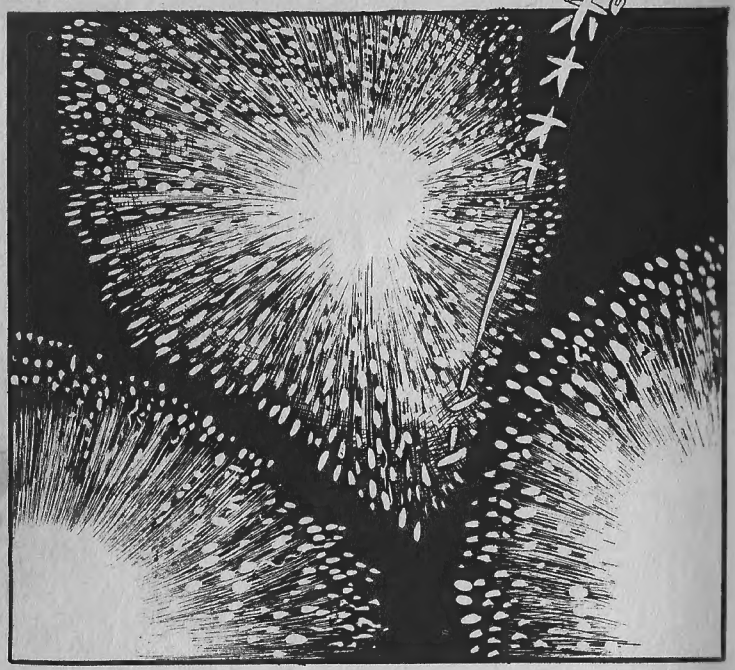
かわいいそう

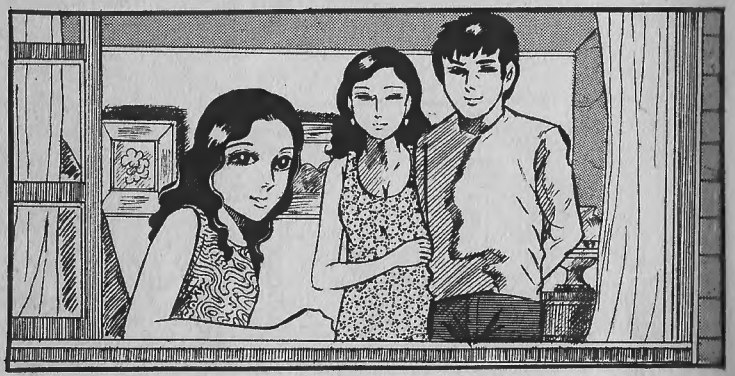
でもいいこともあるよ
昆虫は羽があるから空がとべるんだもの

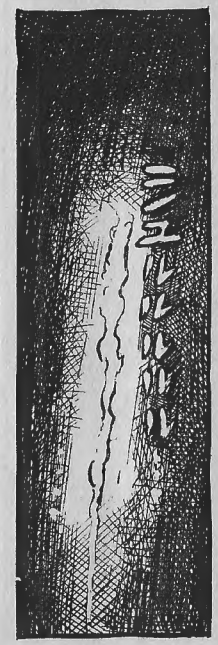
兄のやさしさは
わたしが大きくなっても

すこしもかわりませんでした

わたしは兄が大好きでした
わたしが中学生になってまもなく兄が結婚をして……
夕子さんが家にきました

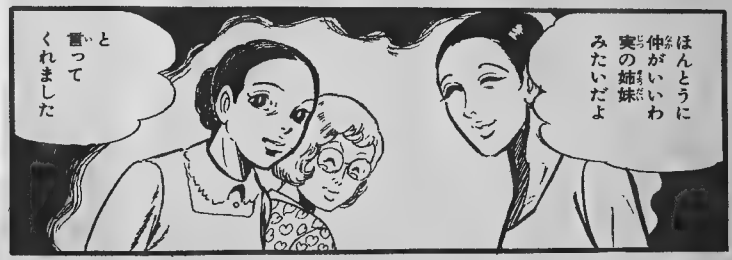

ホオオオ



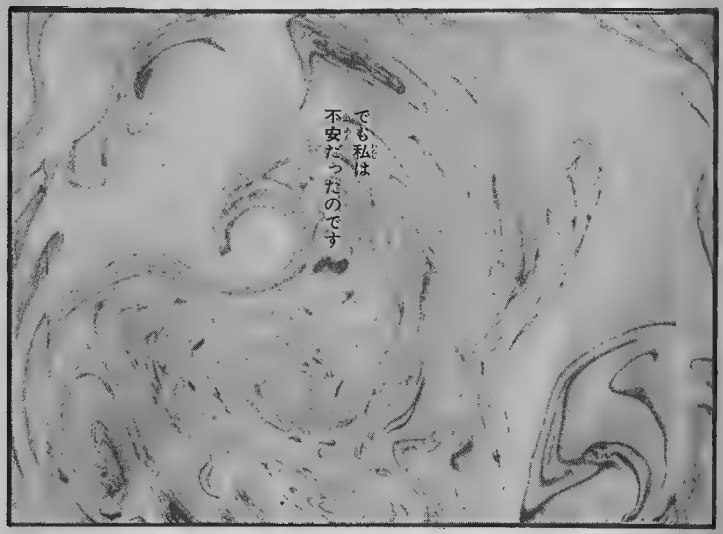

ミシュルルルルル

夕子さんは美しくてやさしい人でした

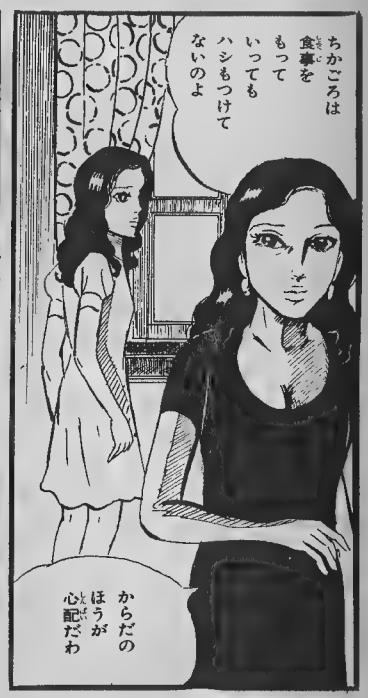
二人でお買物にでかけたりすると
近所の人が


ほんとうに仲がいいわ実の姉妹みたいだよ
と言ってくれました

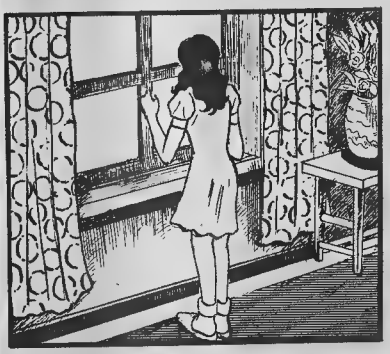
のぞみどおりに科学技師になった兄と美しい義姉さん
幸せな生活でした

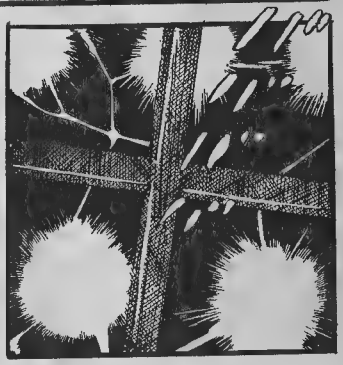

でも私は不安だったのです

にいさんは研究に熱中すると別人みたいになるけれど

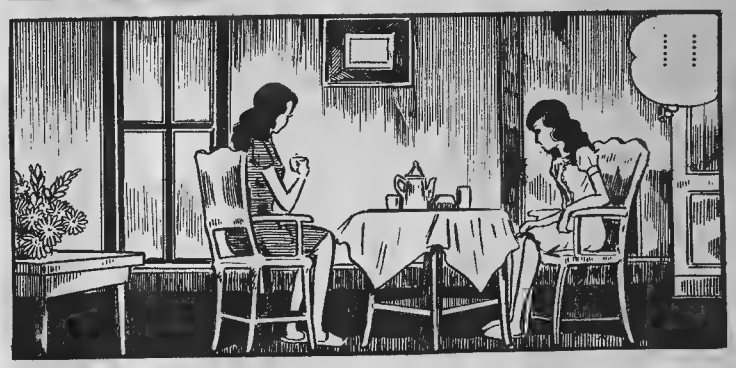

ちかごろは食事をもっていってもハシもつけてないのよ
からだのほうが心配だわ

近づくのまで禁じるなんて……
あまり知られたくないんでしょう



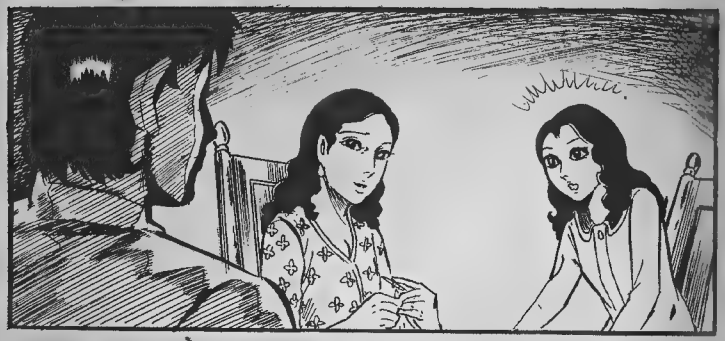


義姉さんにもまだ秘密なの？
そうよ何も教えてくれないばかりか……
ドアーもあけてくれない時があるのよ


……

ある会社の研究室につとめる兄は
家にかえっても仕事をつづけることはありましたが

庭の研究室から外へもでてこなくなったなんてことははじめてでした……



にいさん！

ズカ
ズカ

バター！

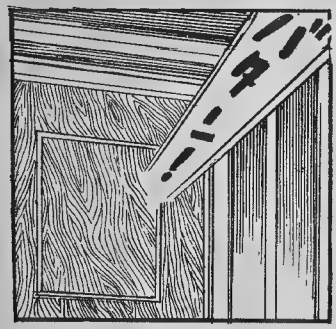
ぎゅ
ニャアー

どうするのルルを？
動物実験だ……

エッ！

うるさい！

かわいそうよルルがかわいそうじゃない！


バタン

にいさん！

ルルの姿は
それっきり
みられなく
なった…

フウー
すっかり
降られて
しまったわ

！
鏡子
！

どう
したの？
にいさん…

ぼくの
留守中に
夕子が
研究室に
入ってケガを
した！
エッ…

あれほど
近づくなと
言ったのに
バカな
やつだ！

どこを
ケガしたの
心配だわ
夕子さんは
どこ？
寝室で
やすんでるよ

いちおう
手当をして
おいたから
大したことには
ならない
だろうが
ぼくの
言うことを
きかないから

あんな
ことに
なるんだ
ひどいわ！
まるで
ひとごとの
ように
言って！

夕子さん！
夕子さん！
ゴー
ゴー

心配かけてごめんなさいね
わたしの不注意でこんなことになって
お医者さんをよびましょうか？

どんなぐあいかわからないけれどちゃんとした手当をうけた方がいいわ

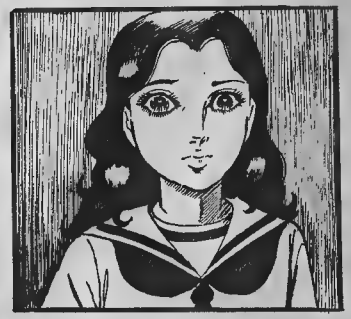
軽いヤケドなのでもう大丈夫よ
ヤケドですって！
顔に傷がのこると大変だわ

わたしのことよりあの人のことが心配だわ
どうしてあんな危険な研究を……

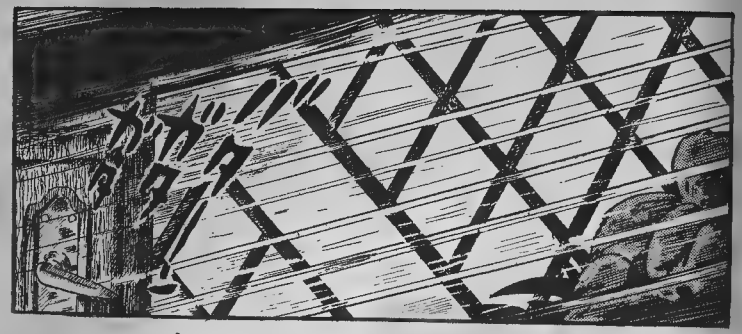
にいさんの研究？それがわかったのね
ええ
でもいまは話せないわ……
もう少し考えさせて……

そして
その夜のことです——

あとで……
説明を
しますから……
とにかく
いまは……
このまま
ひとりにして
おいて
ほしいの……

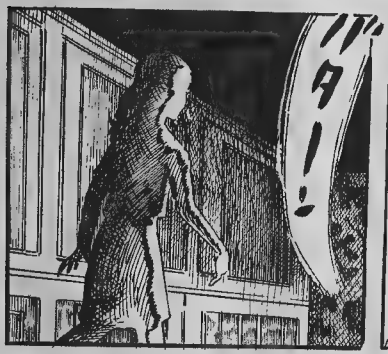


にいさんの……
危険な研究って何だろう？


ガタ
ガタ
バタ

バタ
ー
ン

風がつよくなってきたわ


バタ
ー！

ドアーが鳴ってる……きっとしめ忘れたんだわ

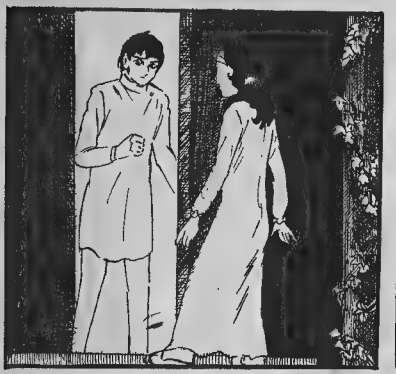
！

夕子さんだわ

あんな姿でどこへ行くのかしら

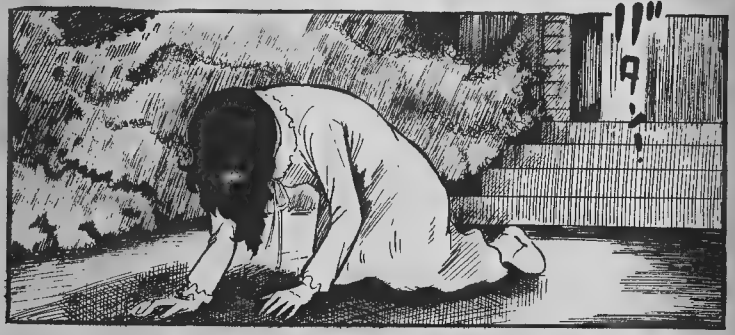
ヒタ
ヒタ

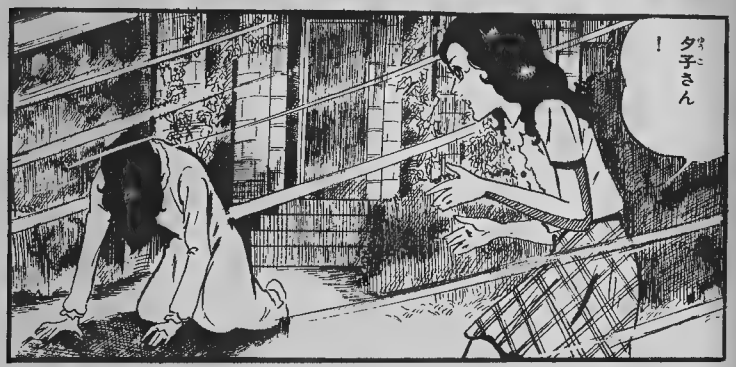
あとをつけてみよう



あっ

二度とじゃまをしないでくれ！


ガバ！

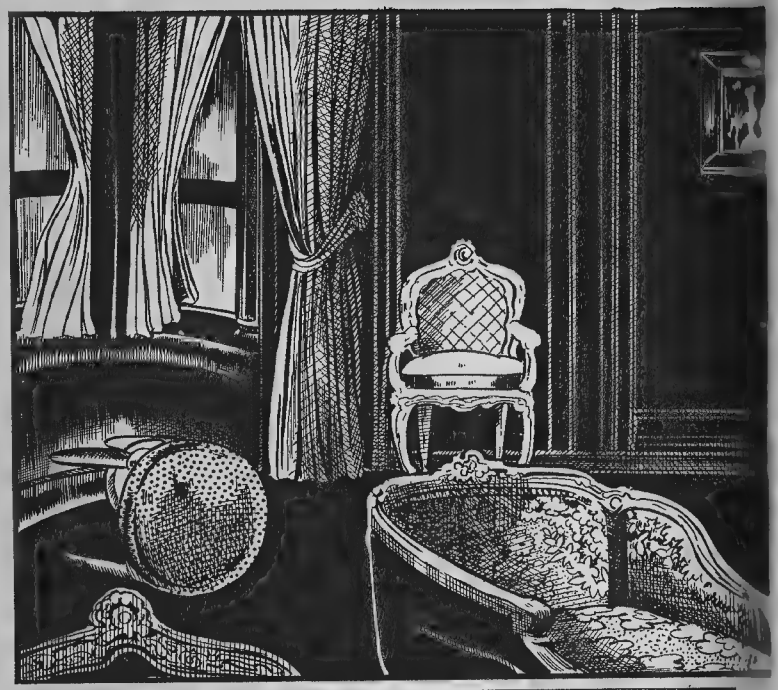

夕子さん！

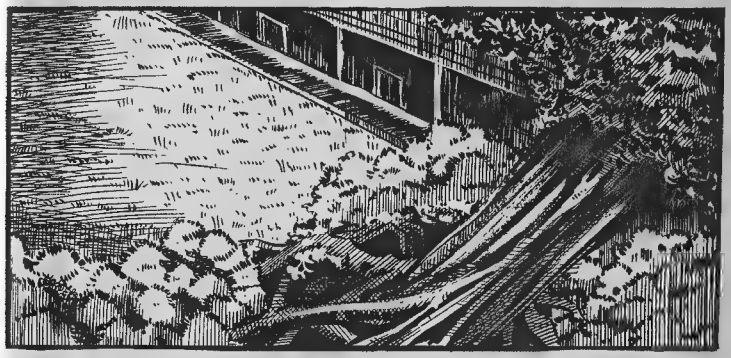
ひどい にいさん あんまり だわ！
大丈夫……さあ いきましょう
夕子さんは 兄の研究を やめさせようと していました
しかし 兄は 聞きいれ ようとは しなかったの です

家のことが きがかりで 学校でも 考えこむ ことが 多くなった
鏡子 さん！
ねえ どうした の？
近頃 元気がない みたいよ

ウン……ちょっとにいさんが……
親友の明子さんはわたしの話をきいたうえで
なぐさめてくれたりしましたが……
わたしの不安は消えなかった……

夕子さんは床についたままだったし……
兄も姿をみせませんでした……
重苦しい空気が家中をおおっていた



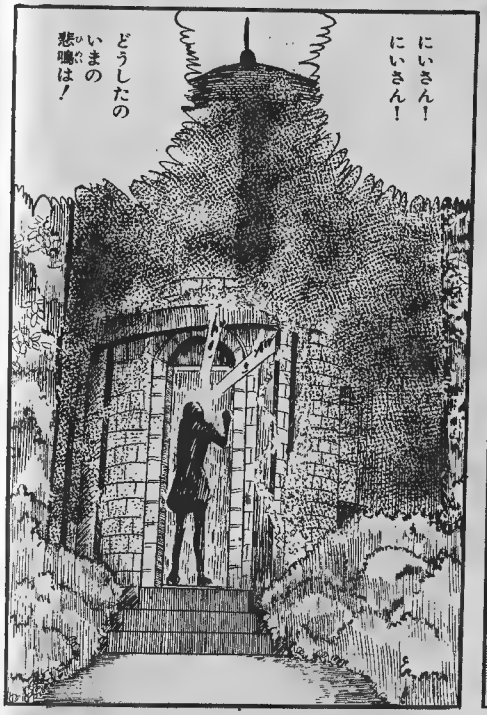


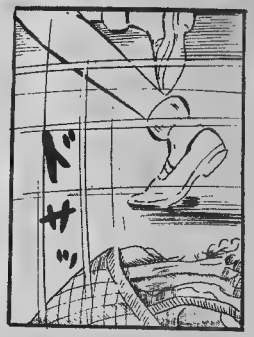
ぎゃあああっ

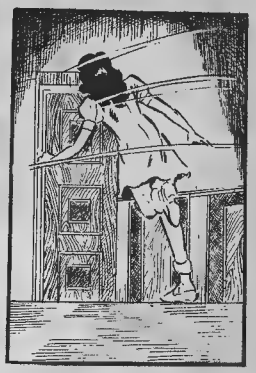
うぅぅあぁぁ〜〜っ
ビビビビ

うあぁぁ——っ

ああ————ッッッッ

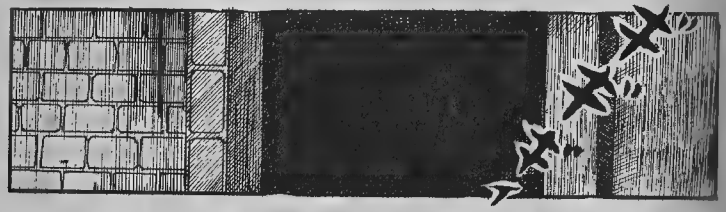

にいさん
だわ！
にいさん！
にいさん！
どうしたの
いまの
悲鳴は！


ドサッ



スッ
！

にいさん
！

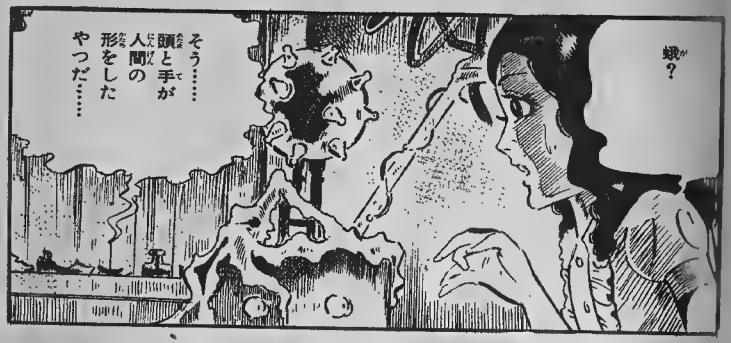

メラ
メラ
メラ

にいさん
どこ？
なにが
あったの
！
ガッ
どこに
いるの
！
返事を
して！

ぼくは……ここにいるんだが……
でも……それ以上こちらには近づかないでくれ……

！

ぼくのたのみをきいてくれ……
すぐに見つけてほしいものがある
奇妙な小さい一匹の蛾だ……


蛾？
そう……頭と手が人間の形をしたやつだ……

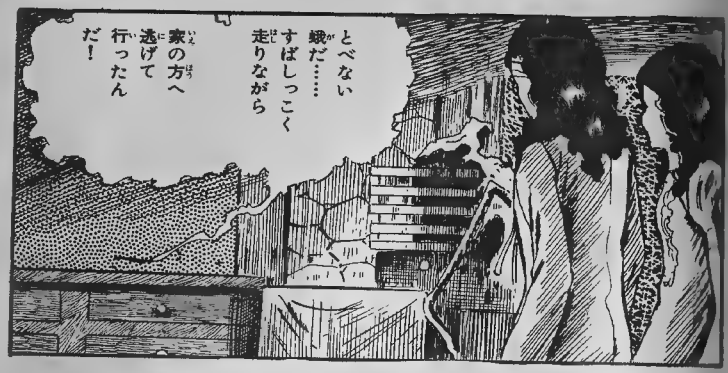
エッ？

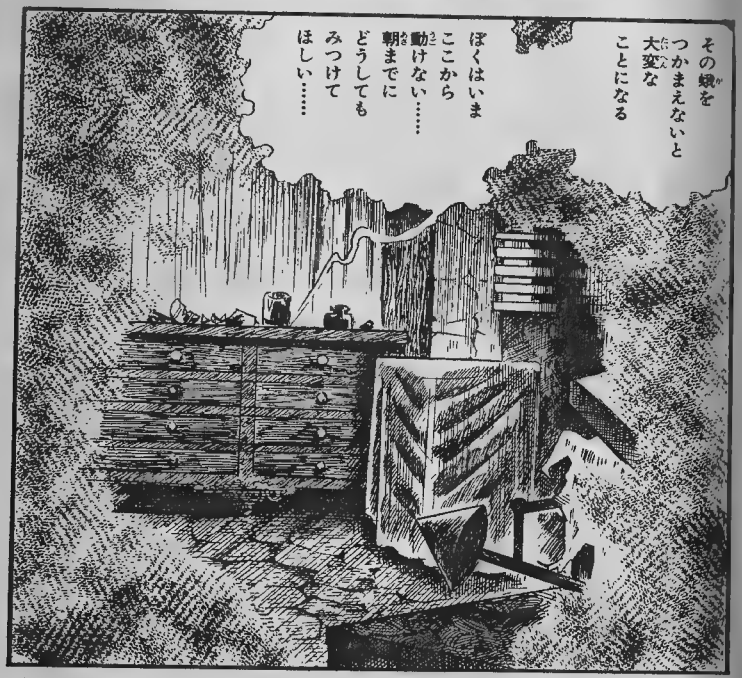
頭と手が……
人間の形をした蛾ですって！
そうだ……羽があってもとべない蛾だ……

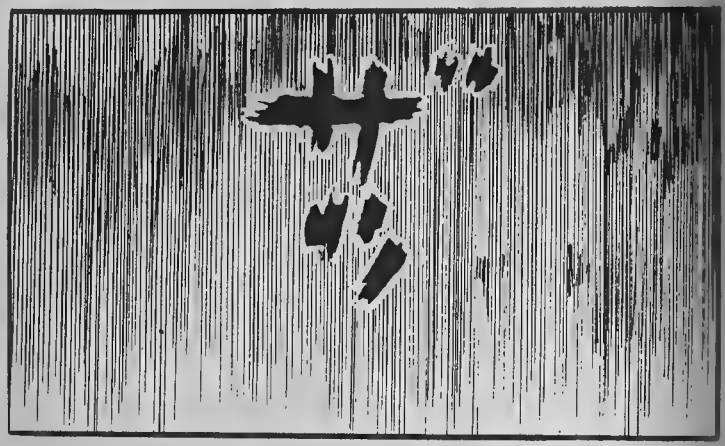
なにがおこったの？鏡子さん！
ちりじまいるの？
あっ！夕子さん

たのむ……
はやくそいつをつかまえてくれ……

あなた…どこに？

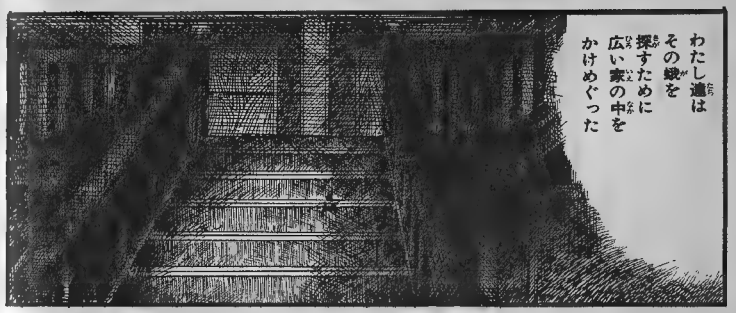

とべない蛾だ……すばしっこく走りながら家の方へ逃げて行ったんだ！

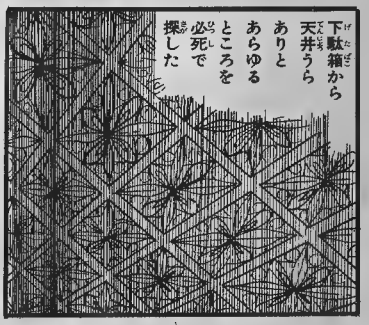

その蛾をつかまえないと大変なことになる
ぼくはいまここから動けない……朝までにどうしてもみつけてほしい……

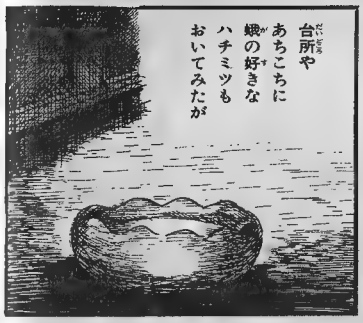

ザッ

ゴロゴロゴロ
ゴロゴロ

頭と手が人間みたいな小さな…とべない蛾だ！


わたし達は
その蛾を
探すために
広い家の中を
かけめぐった


下駄箱から
天井うら
ありと
あらゆる
ところを
必死で
探した


台所や
あちこちに
蛾の好きな
ハチミツも
おいてみたが

一匹の
蛾も
あらわれず

時間
だけが
むなしく
すぎて
いった

この辺は
蛾が
多い
ところ
なのに……
……

そういえば
変ね……
一匹も
あらわれない
なんて
……

みつから
なかったら
恐ろしいことに
なるって
言ってたわ
にいさんの
研究を
説明して
ほしいわ……

蛾が
みつから
ないのは……
雨のせいも
あるかも
しれない……

この広い
家の中で
小さな昆虫を
みつけだす
なんて
不可能に
近い
ことよ……

それにしても……頭と手が人間の形をした蛾なんて……ああっ……

ボボボーン
ボーン
ボーン

にいさんの実験とどんな関係があったのかしら？
エッ

にいさんの実験を知ってるんでしょう
わたしにも話して下さい……

……

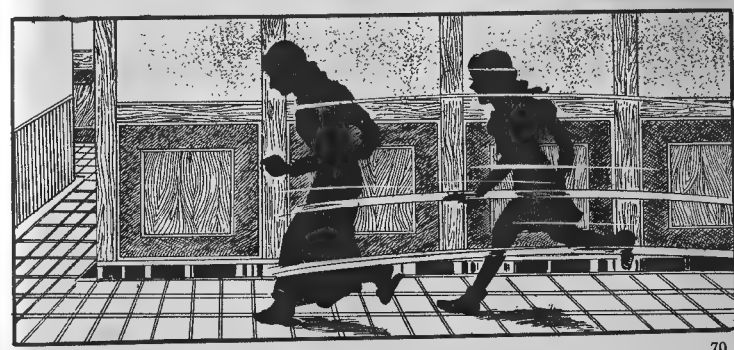
あの人の実験は……

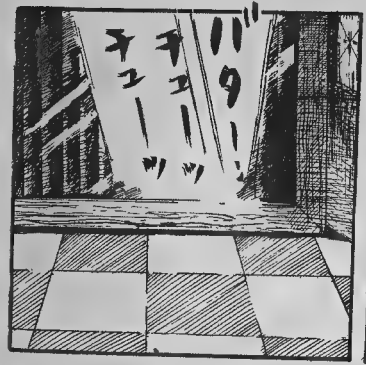
ギッ
ギッ
ギッ
！

ギャアアー
ギャギャ
なに？
この音は！

行ってみましょう
風呂場の方よ

ねずみだわ
何をさわいで
いるのかしら




バター！
チュー
チュー

ガー
ラ
ガリガリ
ラ

あっ

バタ
バタ
バタ
うわ
ああ

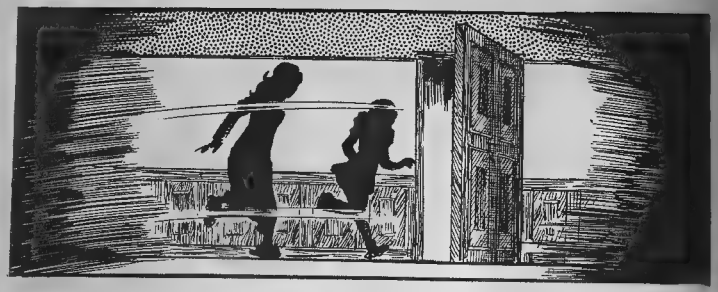
キュー

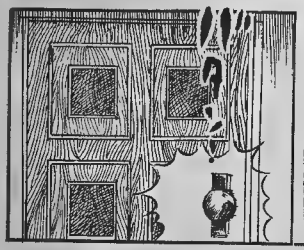
うう……
蛾の粉が
眼に……

パラリ

あっ！

きやあああっ
バタバタ
バタバタ

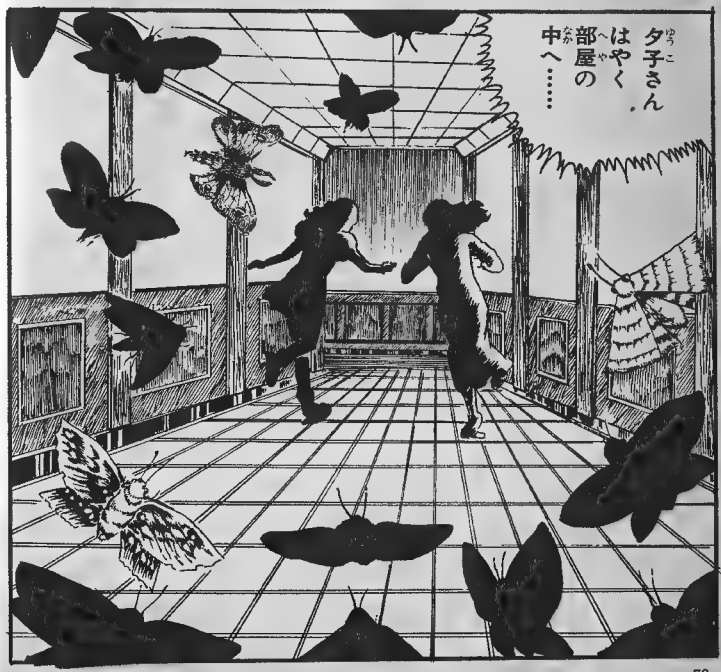



バタン

バタ
バタ

はあ
はあ

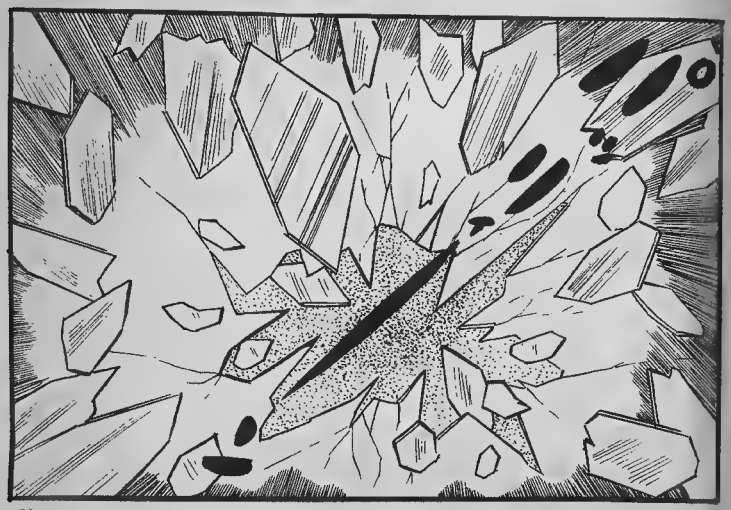
ザザ

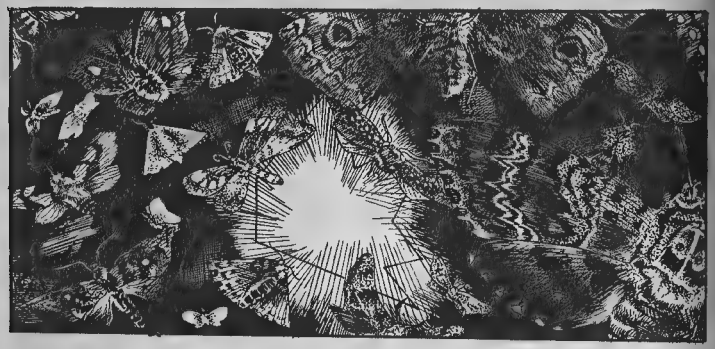

夕子さん
はやく
部屋の
中へ……

蛾がねずみをおそって……
私達にまで……こ、こんなことって……
あっ！
このまえのヤケドのあとよ……蛾の粉がついてしまったわ……
イナゴやバッタが集団で動物を……
おそうって言うのは聞いたことがあるけれど……
どうすればいいの…

もう少し様子をみてみましょう
まさかドアーまでくいやぶられることはないと思うわ……
そうかしらそれならいいんだけど……
あーっ
コツ
コツ
コツ

ああ
ぐぐぐっ





さあ
はやく
この中へ！

わあっ

ザザザ
ザッ

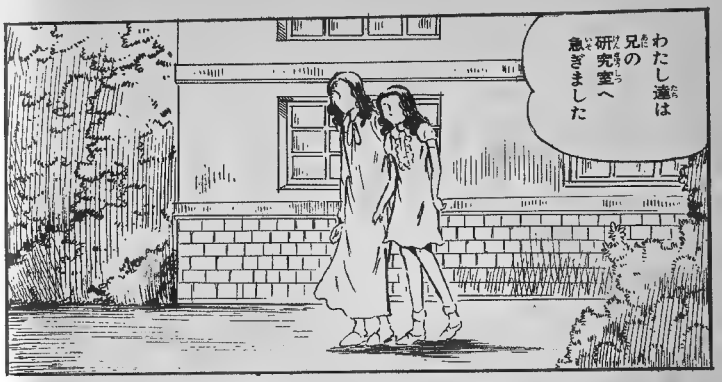
？
外へでて行ったわ……
羽音がきこえなくなったわ……

わかったわ
朝になった
からよ！
それで
いなく
なったのよ
……

蛾は夜行性
ですものね

恐ろしい
一夜が
明けて
朝に
なりました
チュー！
チュー！
チュー！

蛾の集団が
なぜ
人間を
おそったのか
わからない
まま……
チチチ……


わたし達は兄の研究室へ急ぎました

にいさん！

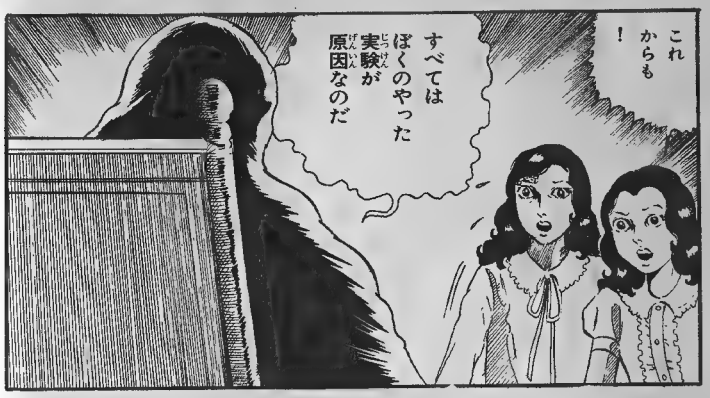
にいさんは大丈夫だったのかしら？

ウウウ……

どうしたの！
どうしてそんな布をかぶっているんですか？誰だかわからないではありませんか！
ここにも蛾の大群がやってきたんだ……

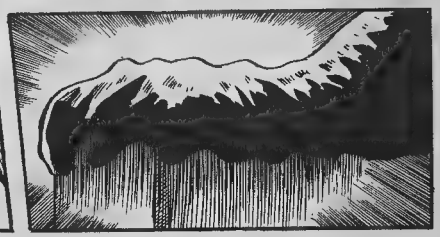
それに…いまは顔をみられたくないんだよ
ウヴヴ～ヴヴ

予想だにしなかったことがおこってしまった……
これからもどんな恐ろしいことがおこるかもわからない……
ウッウッ～ヴヴ


これからも！
すべてはぼくのやった実験が原因なのだ

禁じられた研究の罰をうけるとしたらそれはぼくだけの責任だ！

どういう意味なの？わたしにはわからないことばかりなのよもっとくわしく話して……



昨夜は……

奇妙な形の蛾をみつけろとおっしゃったでしょう
……

だから……その蛾をはやく探すようにします
それはもういいんだそれよりも……

今夜もおこるかもしれない危険をさけるためふたりとも

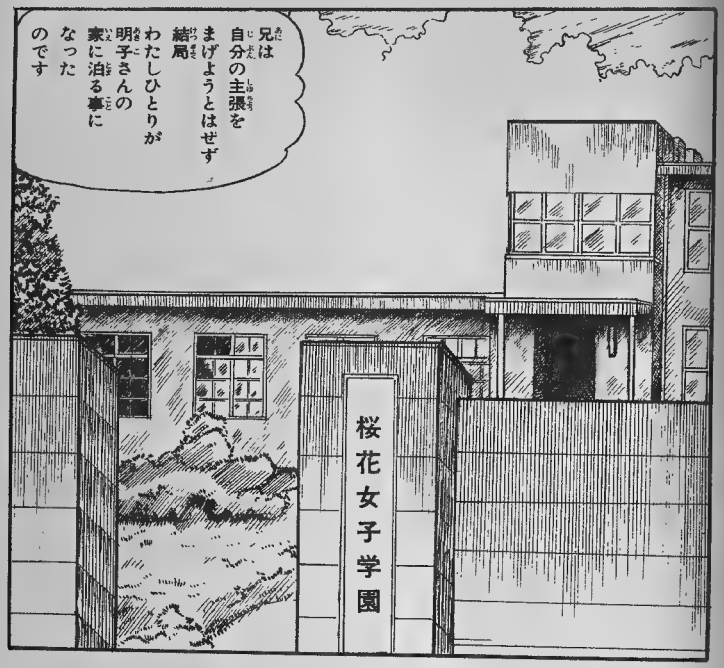
友達の家にでも行ってほしいんだ

もし そうなら あなたも 一緒に来て 下さい
そうで ないと 困ります
ウウウ
にいさん！

駄目だ！

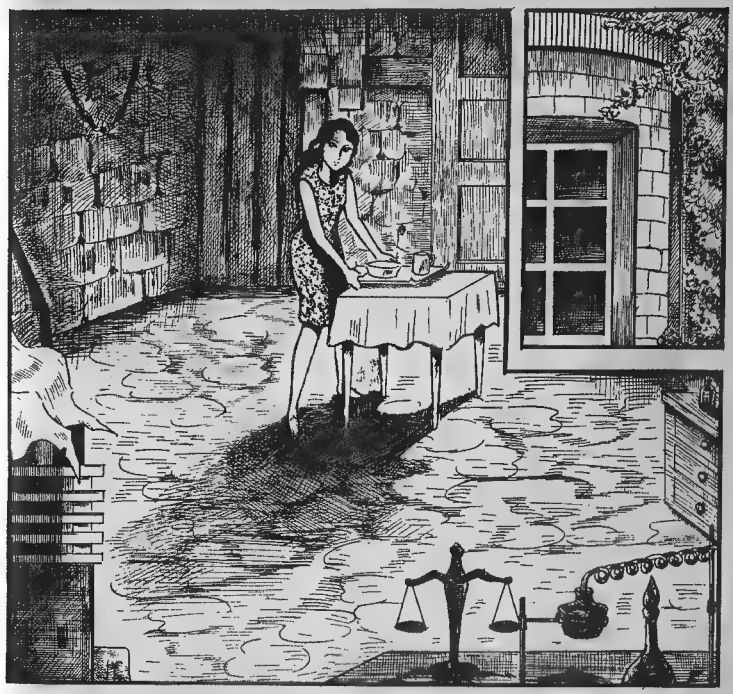
言った とおりに してほしい
はやく 家を 離れるん だ！

ウウ…


兄は 自分の主張を まげようとはせず 結局 わたしひとりが 明子さんの 家に泊る事に なった のです
桜花女子学園

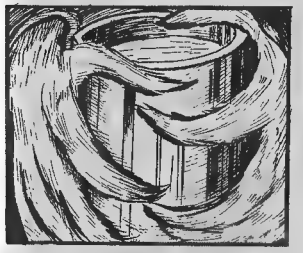
そして――
わたしは

家で おこった 奇妙な できごとを 誰にも 話しません でした



お食事をもってきましたよ……

ウウウ……



カッチーン

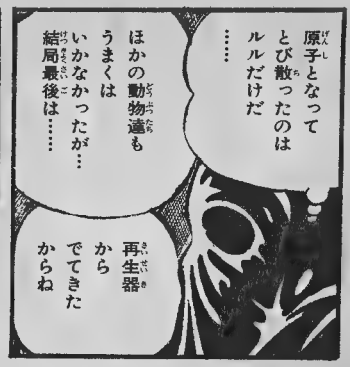
大丈夫ですか！
いや…もういいんだよ夕子……
それよりこの手をみてくれ……

ミルクやハチミツしかたべられなくなったぼくは
もう人間ではないんだ！

ウウッ
ぼくの研究は人を瞬間的に遠くへ運ぶのが目的だった
人間を……原子に分解して電波にのせ……もとの形にもどす再生器でそれを受けとめる……
危険で恐ろしい研究だが
成功すれば我々の生活はより以上に便利になる研究だった

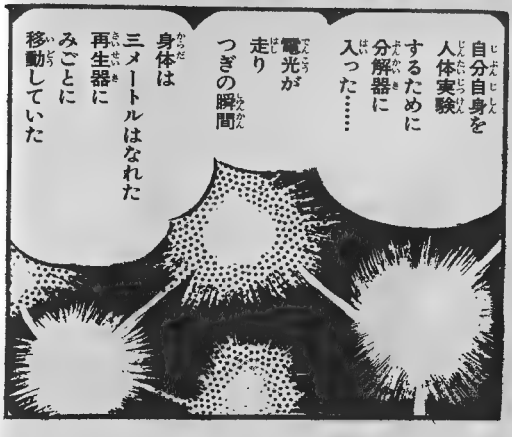
飛行機や電車車さえ必要としなくなるんだよ
分解器と再生器をつくり……コップや皿から実験をはじめ
さて動物実験にとりかかった……
猫のルルのことをおぼえているだろう
ルルは？
失敗だった……
分解器の中で消えたままで……再生器にはあらわれてこなかった

消えた？


原子となってとび散ったのはルルだけだ……
ほかの動物達もうまくはいかなかったが…結局最後は……
再生器からでてきたからね

いよいよ目的の人体実験をする段階になった……
……

それで……


自分自身を人体実験するために分解器に入った……
電光が走りつぎの瞬間
身体は三メートルはなれた再生器にみごとに移動していた

ぼくは成功したと思った！有頂天になって外へでようとしたその時！
かたわらでうごめく小さなものに気づいた！

蛾だ！小さな蛾が分解器にまぎれこんでいたのに気づかなかったんだ！

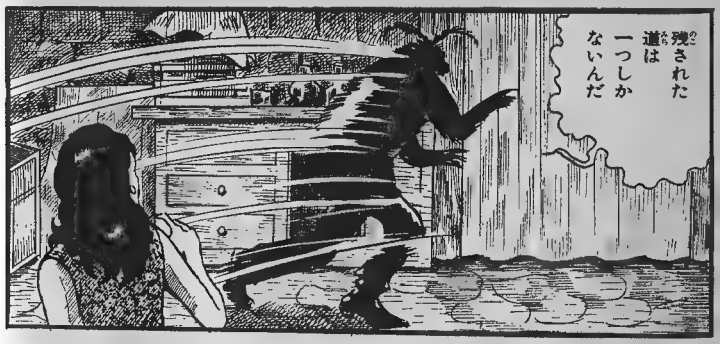
蛾と共に分解され再生された姿はこのとおり恐ろしいものとなっていた……
元の姿にもどるのは不可能だ！失敗の原因は蛾だけではなかった……
ううう……人間としての意識がうすれていくのがわかるのだ……
多分……あと数時間しかもたないだろう……
ガッチャ

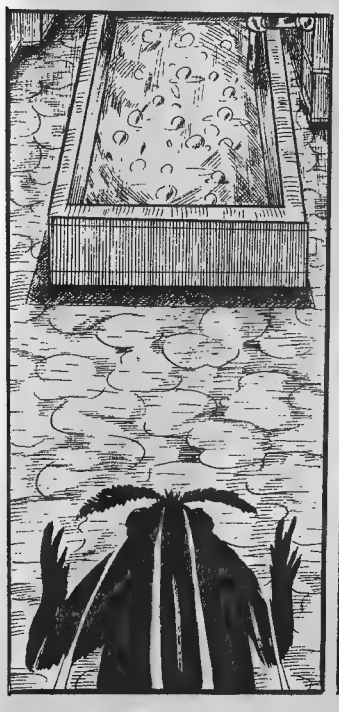
見てくれ……
この姿を！
バッ
ぬぬぬぬ

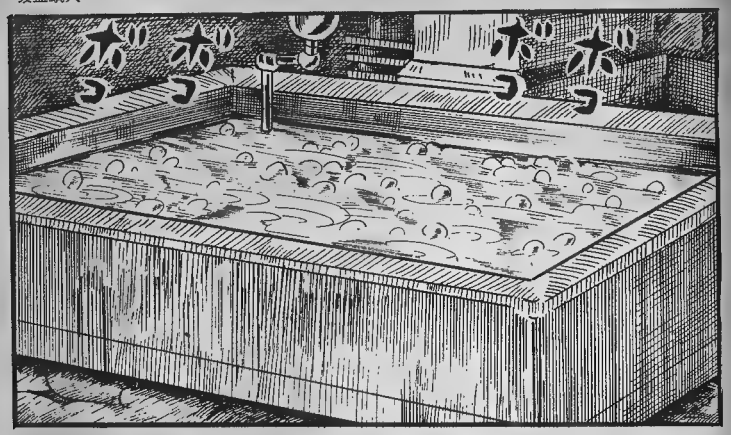
日に日に
変化していく
この身体は
もう人間では
ないんだよ
蛾だけではなく
分解器の中で
消えてしまった
猫のルルまでが
身体に
まざって
しまったんだ

ああ
……
許してくれ
夕子……

バフーン

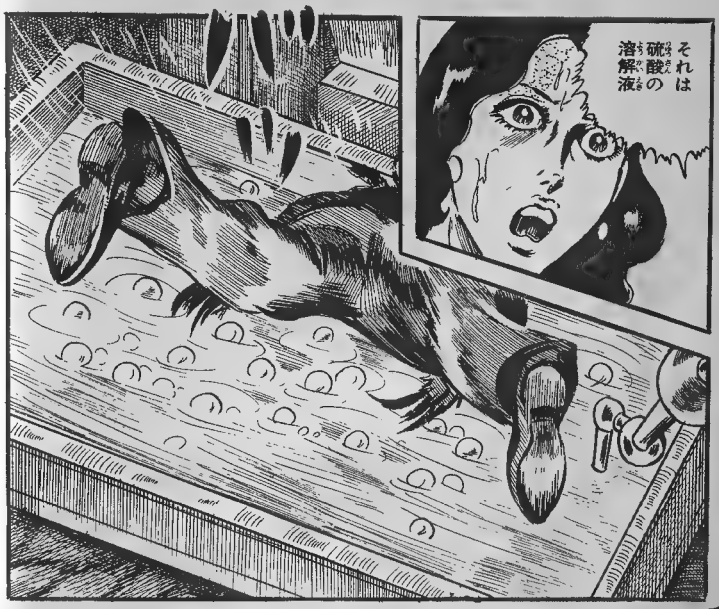

残された道は一つしかないんだ



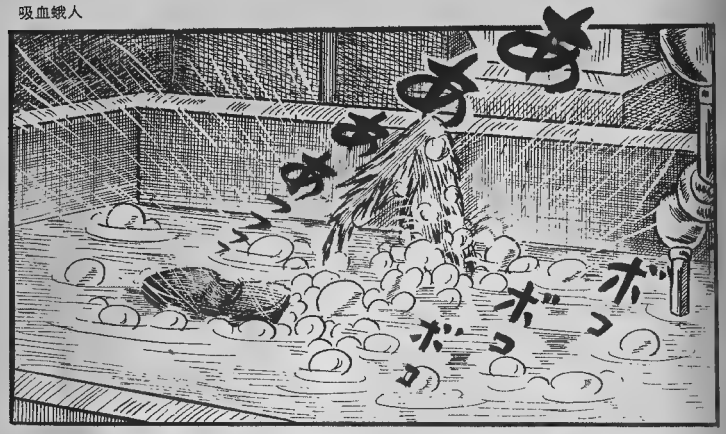

ボコ
ボコ
ボコ
ボコ

ボコ
ボコ

まって下さい


それは硫酸の溶解液

あ
あ
あ
あ
あっ


あ
あ
あ
あっ
ボコ
ボコ
ボコ

ボコ
ボコ
ボコ

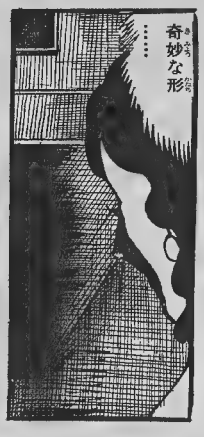
……
……

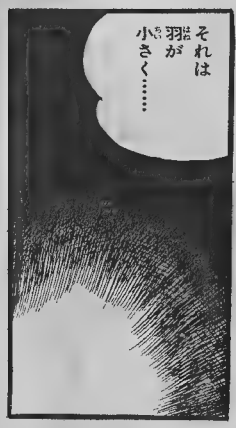
ああああっ

うううっ

わあああ

溶解液にとびこみ
あとかたもなく
消えてしまった
健太郎――
放心状態の夕子が
その蛾を見つけ
たのは……





わたしは明子さんの家であたたかくむかえられて……

毎日電話はしていましたが……

夕子さんの返答はいつも同じでした
変ったことはないけれど

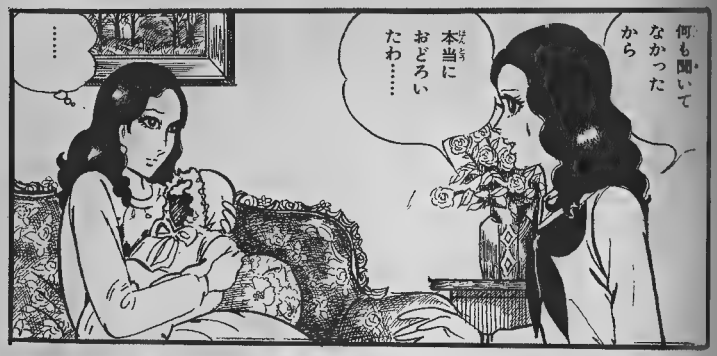
もう少しそちらに居るようにと……
一週間がすぎて私は家に帰りました

しかし家のようすは一変していたのです

にいさんが旅行にでかけたということが最初の驚きでした

そして夕子さんが友人からあずかったという

赤ン坊をしっかりと……


何も聞いてなかったから
本当におどろいたわ……
……

わたしも抱かせて……

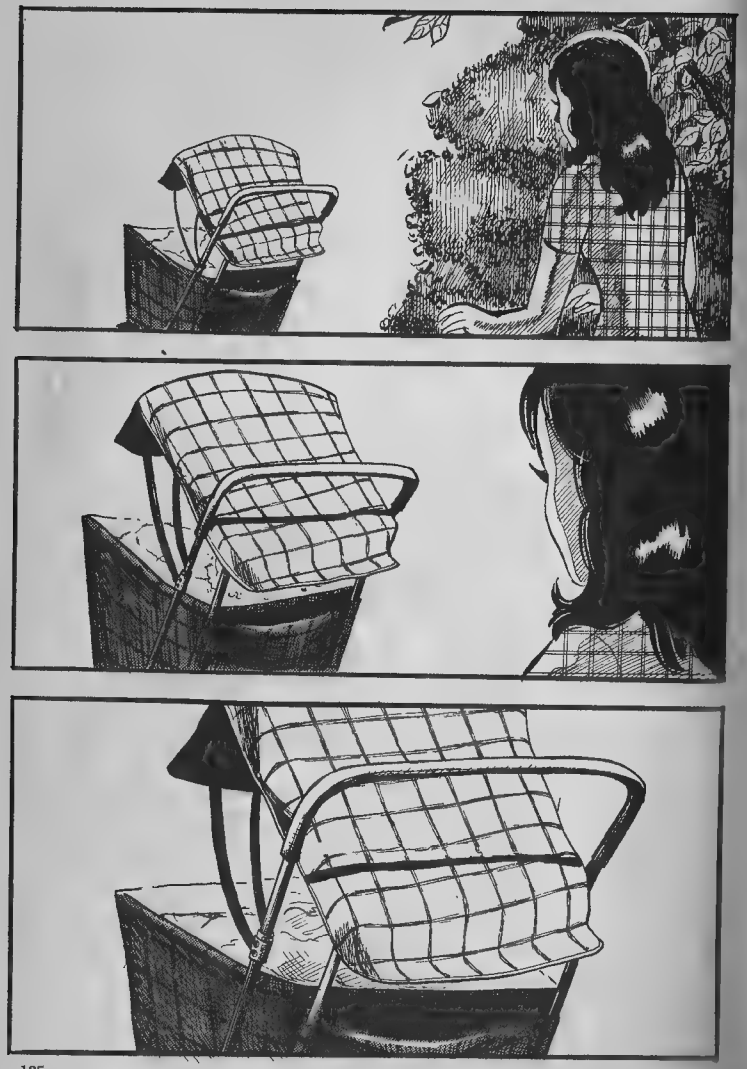
駄目！
いまやすんでいるから駄目です

抱いていたことです

さあさあ むこうで おねんね しましょう ね
ねんねん ころりくよ おころりくよ

にいさんが 旅行にでかけた というのが わたしには ひっかかる……
夕子さんが 別人みたいに なったのも わからない… 居なかった あいだに きっと何かが 起ったんだ
それに しても…… なんて奇妙な 赤ン坊かしら
一日中 ただの 一度も 泣き声も たてない なんて…
わたしに かくすようにして 育てて いるので
男の子か 女の子かも わからないわ
そう そう ミルクを とって きましょう ね

台所へ行ったわ
ちょっとぐらいみるのはかまわないでしょう



まあ
かわいいじゃ
ないの

ちょっと
だっこ
しましょ
うね
ベロ
ベロ
バー
あら
？
この子…
にいさんに
よく
似ている…

あっ
ガッ

きゃあっ!

は
はなして！
あっ

ぱっ

ガバッ

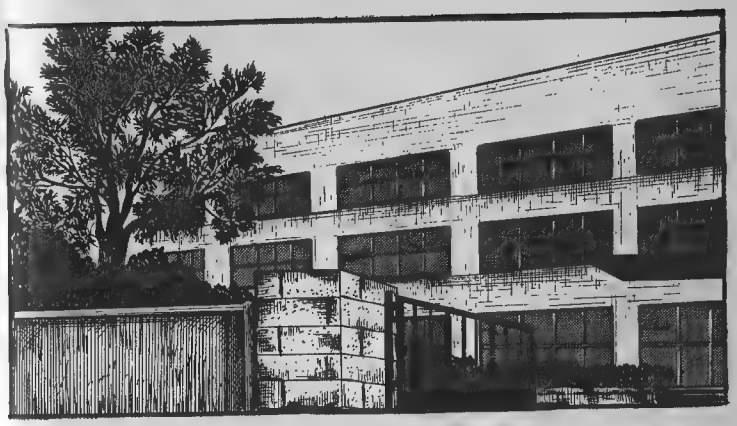
鏡子さん！

これからは……
この子に近づかないでください！

赤ン坊にかみつかれた痛みより

夕子さん！

夕子さんの見幕のほうがショックでしたそれからは……
わたしがはなしかけても返事すらしてくれなくなったのです



その手のほうたいどうしたの？

赤ン坊？一体どこの
夕子さんが
あずかってるの…

赤ン坊に……
かみつかれたのよ

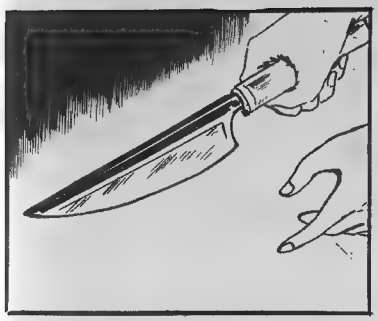
それで家の空気が気まずくなってるんだ……

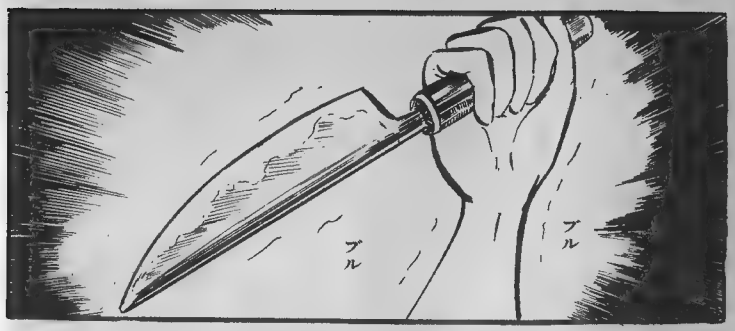
赤ン坊は
わずか
一週間の
うちに……
二倍もの
大きさに
なって
しまった

ああ……
わたしは
いったい
どうすれば
いいのだろう

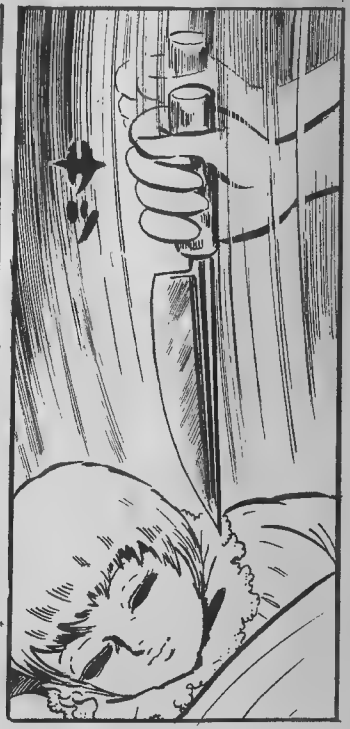
にいさんからは
何の連絡もない……
どこへ行って
しまったん
だろう

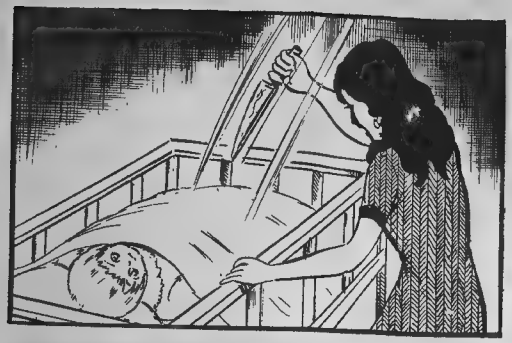
あっ！



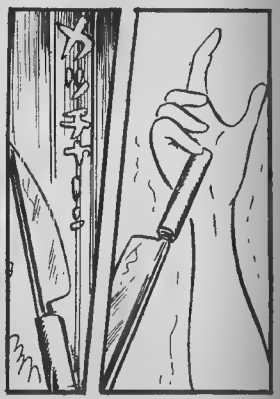

ブル
ブル

ワサ


ヤ



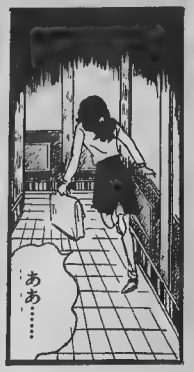
だ、だめだ
わたしには
できない


ヤ

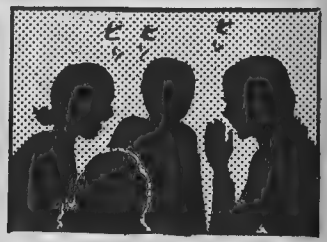
……

夕子さんが出刃包丁で赤ン坊を殺そうとしていた
どうしてだろう……？

どうしてそんな恐ろしいことを


ああ……

夕子さんの赤ン坊のことはいつの間にか学校でも評判になっていました



そんなに気味のわるい子なの……

鏡子さん！

あなたのおねえさんいつあんな赤ン坊を生んだの？
ちっとも知らなかったわ
そんな顔しないで
驚いたのは私のほうなんだから
だってまるで猫みたいにねずみを追っかけていたわよ
きのう庭でねずみを追っかけてるのをみたのよ

あの子は夕子さんがお友達からあずかっているのよ
それで……
フーンどんなお友達かしらね
もしかしたら狼男かもね
フフフ……
まあ
うわさをふりまいたのは伸子さんでしたわたしが困っているのを知ったうえで
ろくでなしイヤガラセまでするようになったのです

あっ
ヤミの鏡子サー
オバケヤミキの鏡子サー

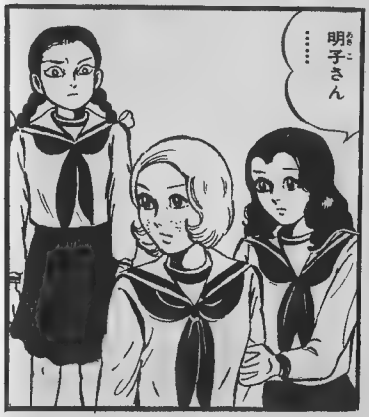
誰がこんなことを
わたしじゃないわよ
わたしもしらない
ずかずか
ひどいじゃないのいいかげんにすれば！

わたしじゃないわよ
でも
よく似ているわね

そっくりだわ――
うそ！おもしろがっていいふらしてるだけよ！

うそですって！

そうよ！鏡子さんがクラスの人気ものだからねたんでるのよあなたは！
まあ！


明子さん……

伸子さんの言ってるように
あの赤ン坊はたしかにふつうではない……

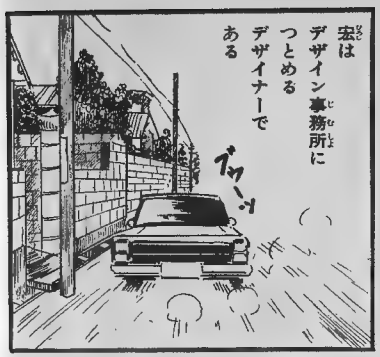
そうだきょうこそ思いきって

夕子さんにくわしいわけをきいてみよう

しかしその日の帰り際……明子の兄の宏に会って帰りがおそくなった
キキキィィ

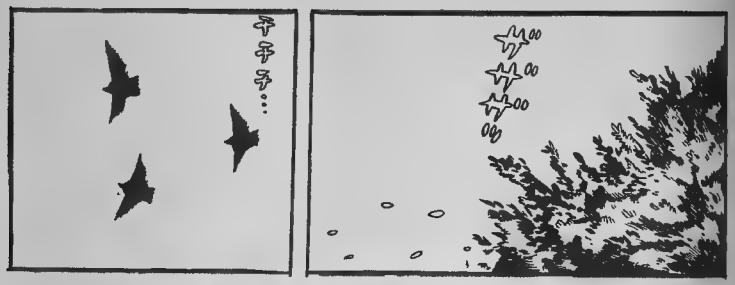
ヨウ！ぼくだよ

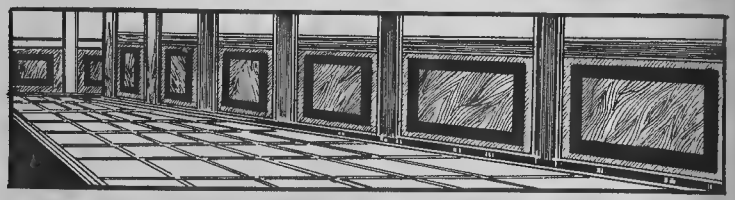
乗れよ飯でもおごるよ！
まあ
ひと仕事終ったところさ


宏はデザイン事務所につとめるデザイナーである
ブッ…

ああまで言われてだまってるわけにはいかない……
あの赤ン坊のことをさぐってやろう

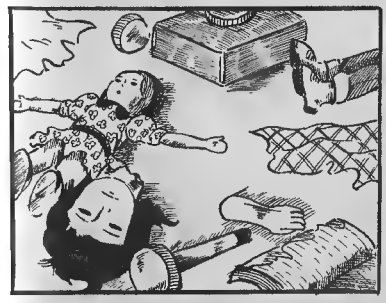
そして私の言ったことがうそじゃないことを思い知らしてやる！

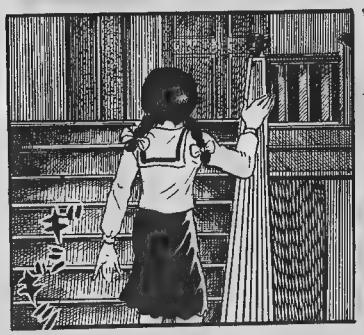

チチチ…

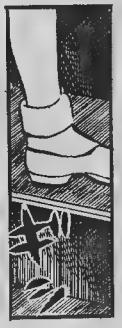


人の気配がない夕子さんは留守だ……

ギギィ〜







なんて
大きな
ウチだろう

イイイイ

やっぱり
ばけもの
だわ
おもちゃを
メチャクチャに
している……

そうか
かくれて
るのね
……

でておいで
おばけの
赤ちゃん
かくれても
すぐに
わかるの
よ

ようし
みつけ
だして
やる

フフフフ
……

ほーら
いた
いた
さあ
でて
おいで

ビュ

でてこい
ほら！
どう
だ！
バシ
バシ

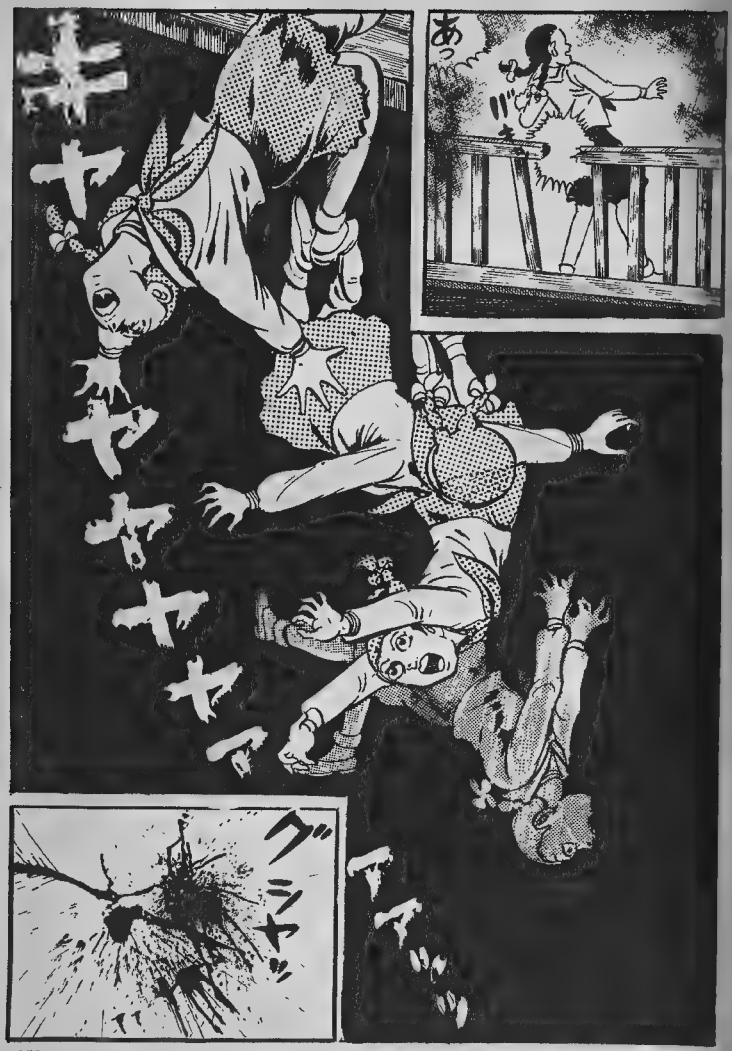
まだ
でてこない
のか……
ようし
！

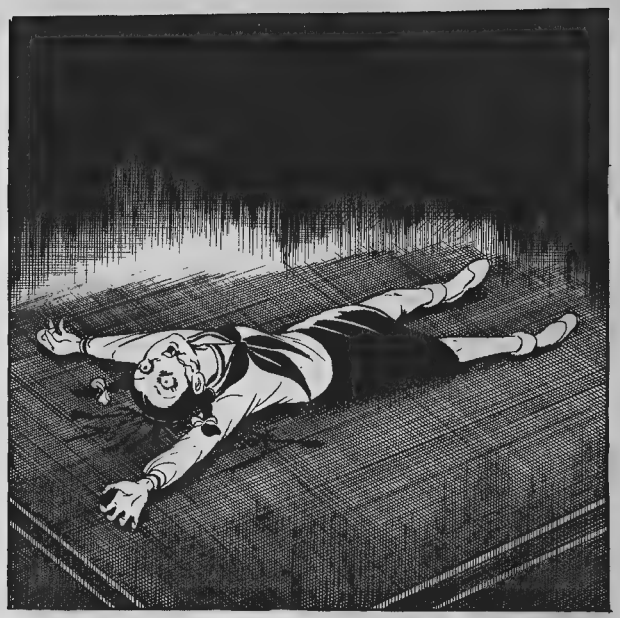
ガ
あっ!
ガガ
おはなし!
はなしったら!
え!
なまいきな!
ドーン

ヒッ
これは……

ワッ！

こ、こないで！


あっ
キャ
ヤヤヤヤヤ
ア
グシャッ



ガブ ガブ

あっ

し、死んでる！

ガブ ガブ

大変なことになったわ

ああどうすればいいのだろう……
この子のことが他人に知られる

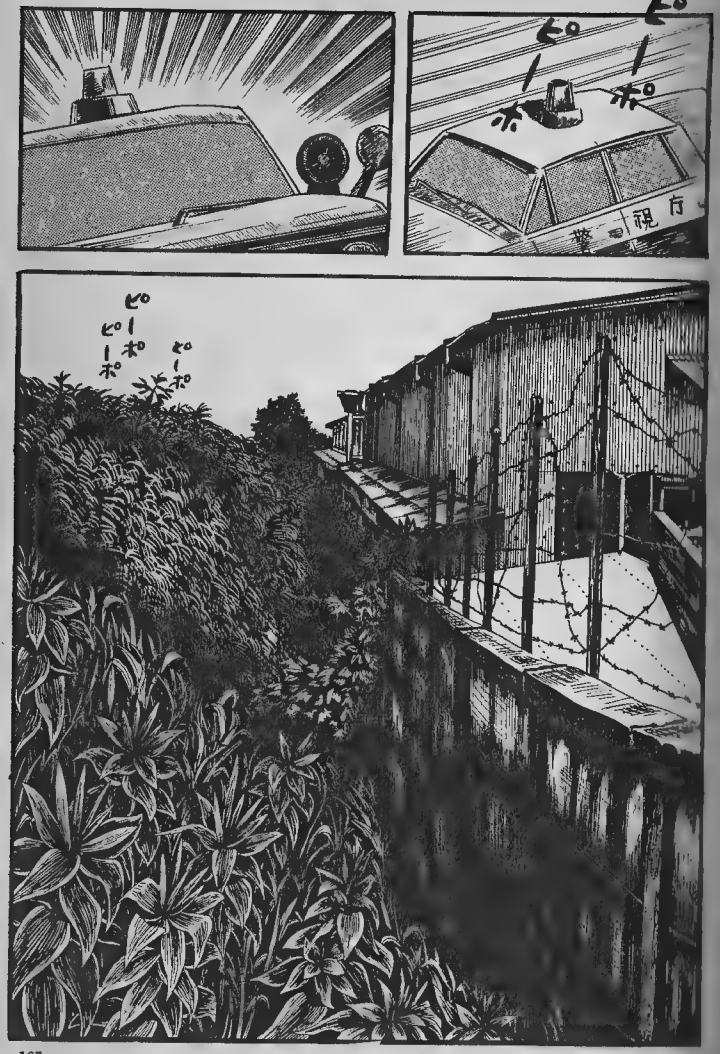
わたしがやったことにすればいい罪をかぶればいいんだわ
そうだ研究室に誰も知らない
秘密の地下室がある……

キキイッ
あなたをそこへかくしておきましょう

ガヤ
寄っていけば夕子さんも喜ぶわよ
そうね

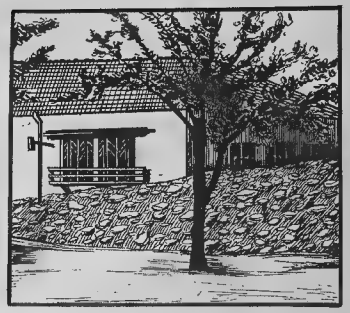
ここなら誰にもわからないわ
必ずきますからね
待ってるんですよ

すぐにもどってきますからね
しかし夕子はもどってこなかった……
帰って来た鏡子たちに事故現場を発見されもどってくることができなかった


ピーポー
ピーポー
警視庁
ピーポー
ピーポー
ピーポー

あーん
あー
あーん

伸子さんは事故死さ警察でもそういっていたじゃないか……



学校でも評判になってたんだろうおばけみたいって
それは噂よ

それよりも彼女が興味を、もって忍びこんだとみられる赤ン坊のほうが問題だよ

夕子さんが狂ってたなんて……ショックだったわ……

でもいた事は事実さ！一体誰からあずかったんだろう？姿を消したままってのも……
奇妙よね

真相をききだすことができなくなったもんな……
あの時…

おとろいて立っているぼくたちの前に

あっ夕子さん！

狂人だったら罪を……
とわれることがないからね

よほどショックが大きかったんだわ！
……

失踪して行方のわからない健太郎氏のことも……

夕子さんをうたがっているの？
そうじゃないんだけど……

……

夕子さんしっかりして……

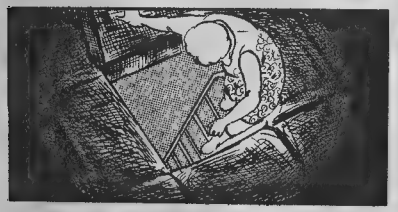
夕子さんは病院に収容され
面会は週に一度しかゆるされなかった
わたしは毎週見舞に行きました
136
ねんねん〜ころりよー おころりよ〜〜〜
吸血蛾人
坊やはいい子だねんね〜しな〜
夕子さん！
よびかけても駄目ですよ
毎日あんなふうなのですから
……
ねんねんころり〜〜〜よ

一方――地下室にかくされた赤ン坊は……
ある女の助けで生きのびていた

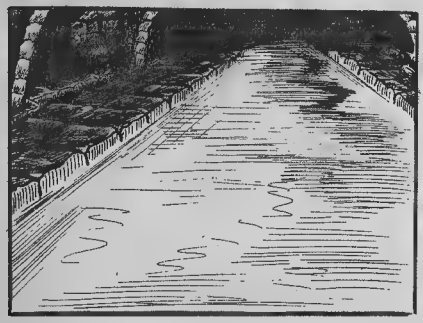
ほら！ここにたべものをおいていくからね……

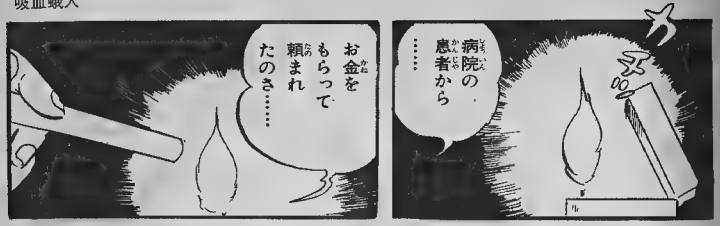
ジャップ ジャップ

それじゃまたくるからね



女は地下室の下に通じる古い下水道から出入りしていた




病院の患者から……

お金をもらって頼まれたのさ……

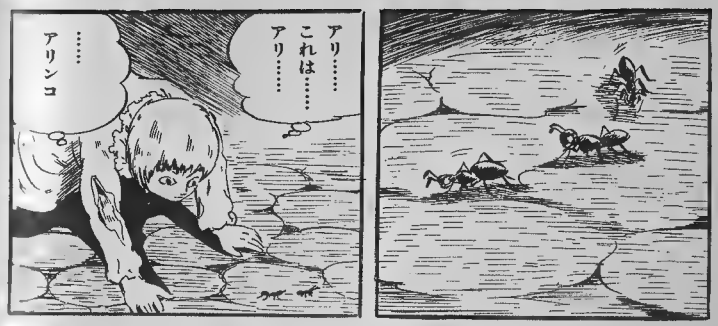
私はその夕子さんという患者のつきそい婦をやっていたからね……

どうしてそんな姿になったのか知らないけれど……
まず一生……ひとまえにはでられないよ……

もっとも見世物小屋なら別だよいいお金になるんだ……

フフフ……
大丈夫さ
売りとばしや
しないよ
だって
わるいじゃ
ないか……
夕子
さんにね
……
ながい間
その地下室で
一人遊びをつづけて
いた彼は……
ある日
光を
つかもうとした
天井の土の
くずれおちた
ところから
落ちるように
もれてくる
陽の光を
手の中に
つかもうとして
つかむことのできぬ
不思議な気持が

ねむっていた
人間としての
意識を
よびもどす
きっかけを
感じた

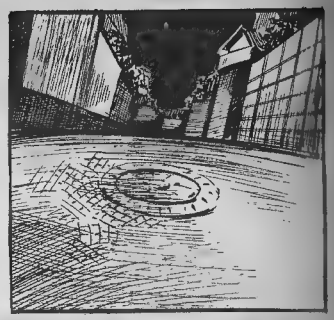


アリ……
これは……
アリ……
……
アリンコ

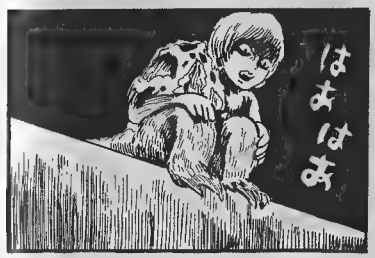
アリ……
……
アリン
コ……
でも
どうしてぼく
知ってるの
ふしぎだな……

ぼくは
……
ぼくは
ぼくは……
だれ？
！

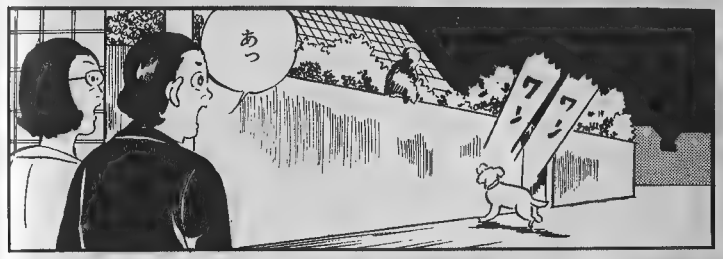
……
どうして
こんな
ところに……
へんだぞ？
……
どうして……



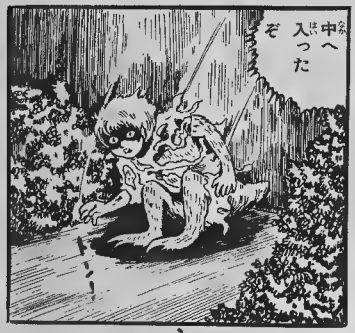
あっ
ガッ

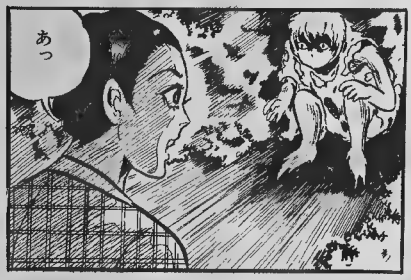

はよはよ

ビリ
ビリ


あっ
ワン
ワン

ばっ
ばけもの
だあ
きゃっ
！


糸中へ
入った
ぞ


あっ

さわが
しいわ
何が
あったの
かしら

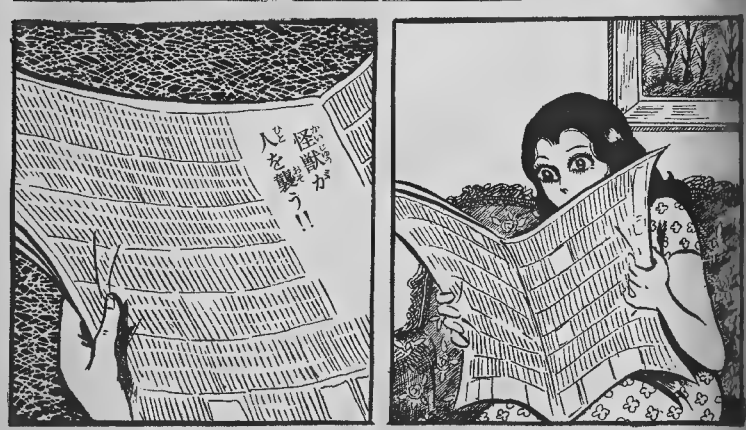
きやああっ

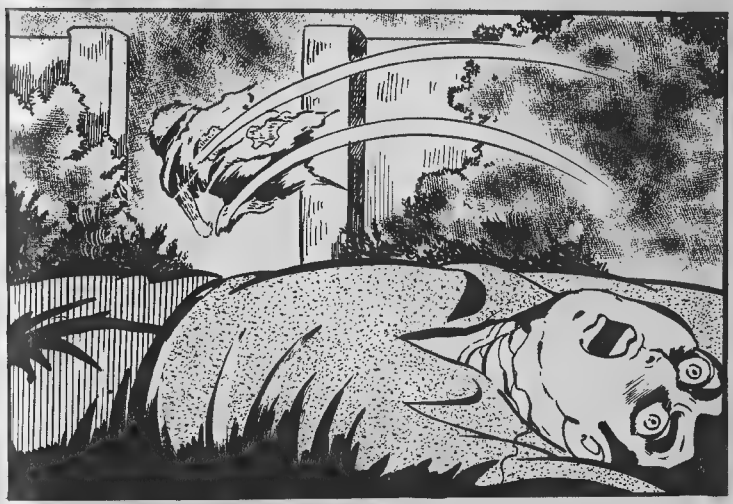
あ、あなたばけものが……
なに！
いけ！でていくんだ！
ようし！いかないのなら……
ガッ！
ええいこれでもか！
ばけものめ！

ガアッ！
ワッ！

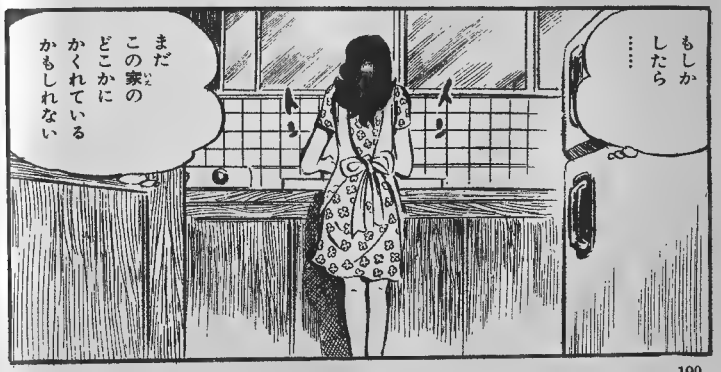
きゃあーっ
誰か
きてーっ
ばけものが
人殺しを
！

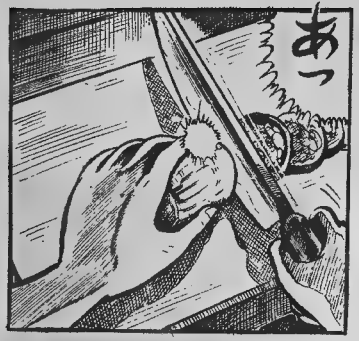
チュン
チュン
チュン


怪獣が
人を襲う!!



この怪獣と言うのは……
あの赤ン坊のことじゃないかしら

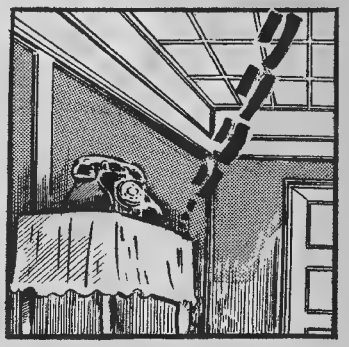

もしかしたら……
まだこの家のどこかにかくれているかもしれない
トン
トン


あっ

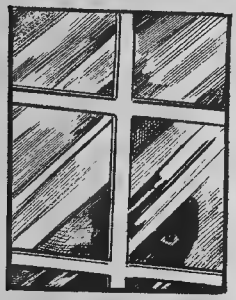
わたし一人では心細いわ
明子さんに泊りに来てもらおう
トン

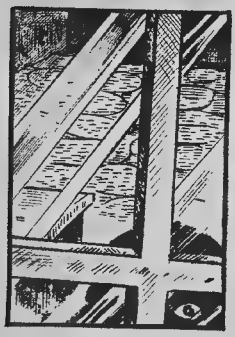
夕子さんは
この
包丁で
赤ン坊を
殺そうとして
いたんだわ
……

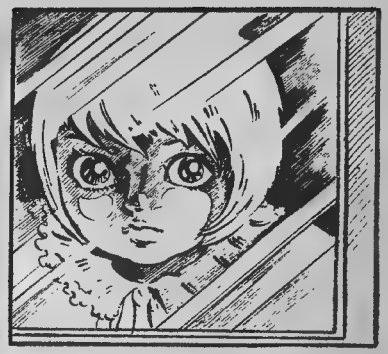
はい！
はい！
ああ
明子
さん…

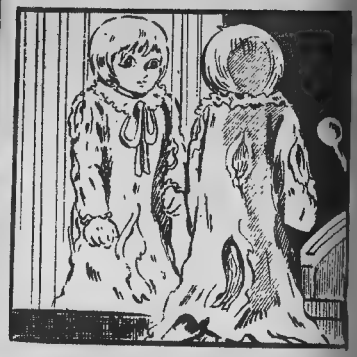

リーン
リーン

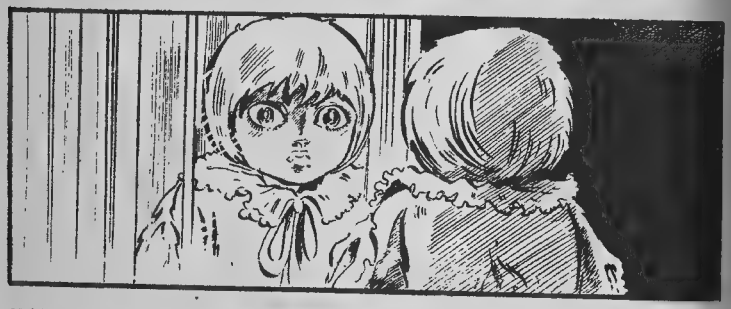
……
エッ
！
夕子
さんが
病院を
脱走した
！

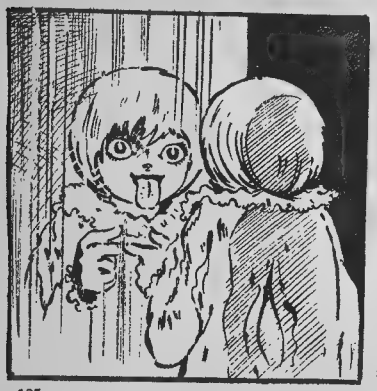






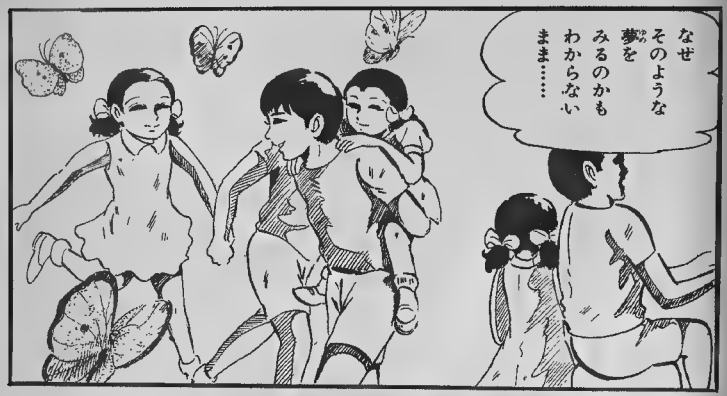






ぼんやりとした遠い記憶のむこうで誰かが呼んでいる声がした
にいさん——
にいさん——

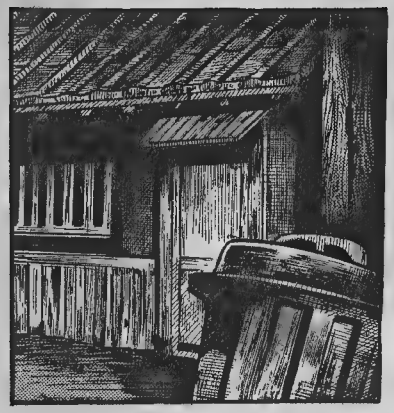
いつも…きまってみる夢であったが……


なぜそのような夢をみるのかもわからないまま……

彼は…うす暗い地下室の一隅で……
ながい……夜を待ってまどろんでいた……

病院をぬけだしたまま行方がわからないなんて……
あの人秘密を守るために入院していたって気もするんだけど……

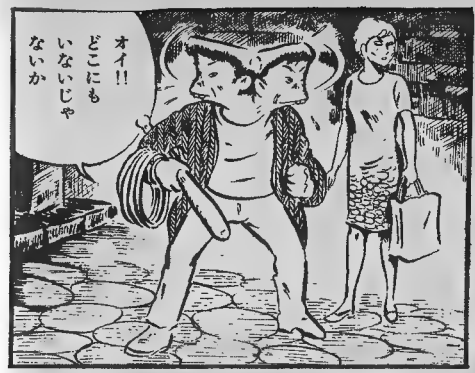
秘密って？
赤ン坊をかばうためよ！



どうだ？
明朝会わすって言ったら
安心してねむったようだけど
この家であずかってくれと
頼まれていたからねいまさら
地下室であのままだなんて言えないよ
どうする？連れもどすかい
ばか！
はじめの計画どおり見世物小屋へ売りとばすんだ！
かわいそうな気もするんだけど…

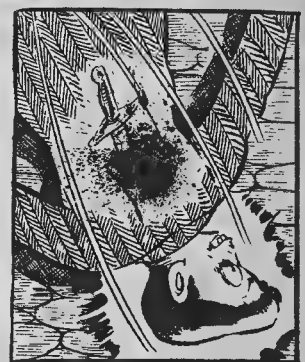
かまうことあないよ！
さあはやくでかけようぜ
わずかのあいだに……
赤ン坊は驚くべき変ぼうをとげていた
複雑な器械を自由に操作し
自分の身体が昆虫と合体されたものであることも気づいていた

地上にでた昆虫の
そのほとんどが
たったの一年で
生命を終る……
そして——
彼の身体にも
恐ろしい細胞の
変化があらわれ
はじめていた

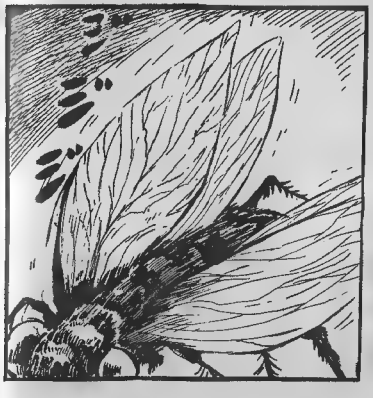

オイ!!
どこにも
いないじゃ
ないか

きっと
かくれたん
だよ……
ドスッ
ゲッ
!

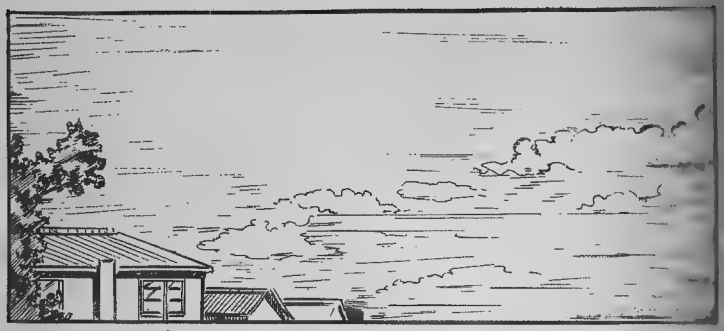
あっ
!



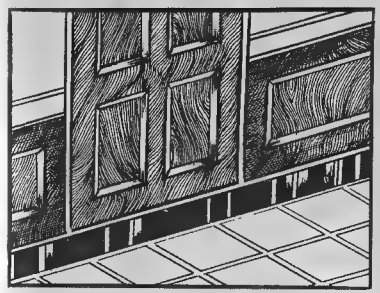
ぎやあああっ

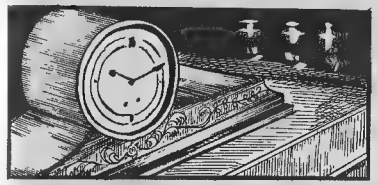

ゴ
ゴ
ゴ

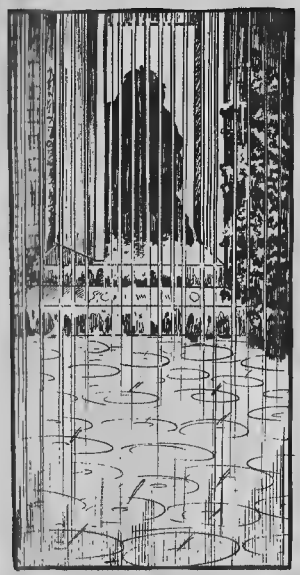
ブ
ブ
ー
ー
ー
!



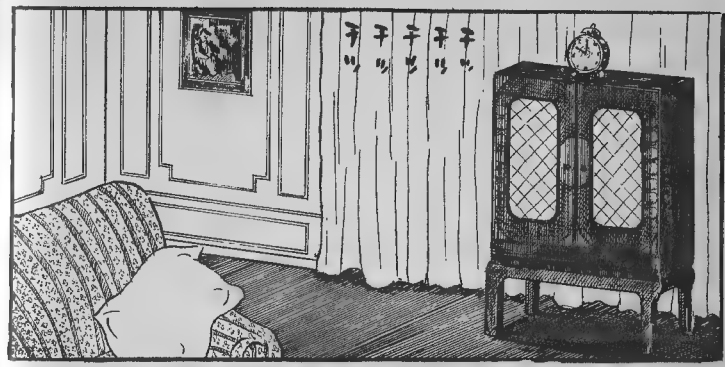
研究室で再び恐ろしいことがおこっていることをわたしは知りませんでした
ましてや自分達もねらわれていたことなどは……

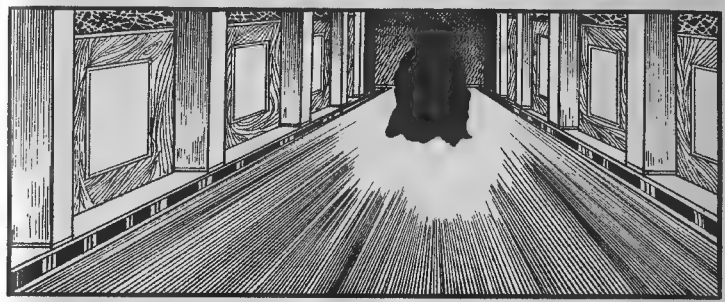


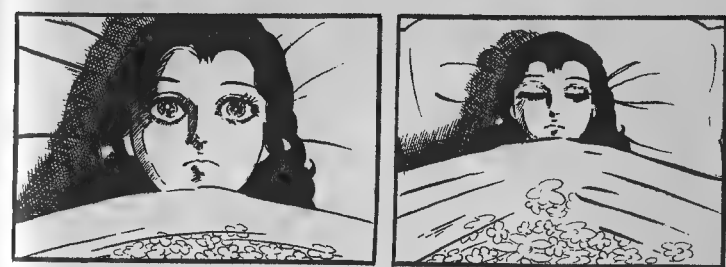




ザザザザアー


チチチチチ
ッッッッッ

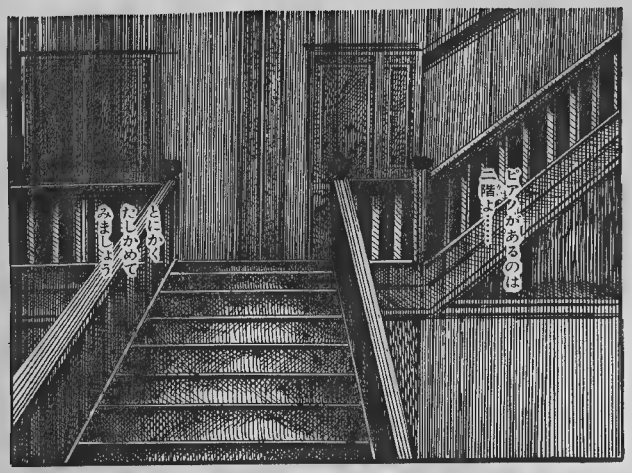


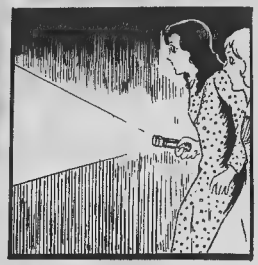


ながいあいだ
わたしの頭から
はなれなかった
恐ろしい
ひとつの想像
それは
にいさんが
赤ン坊と
入れ替ったのでは
ないかという
想像だった

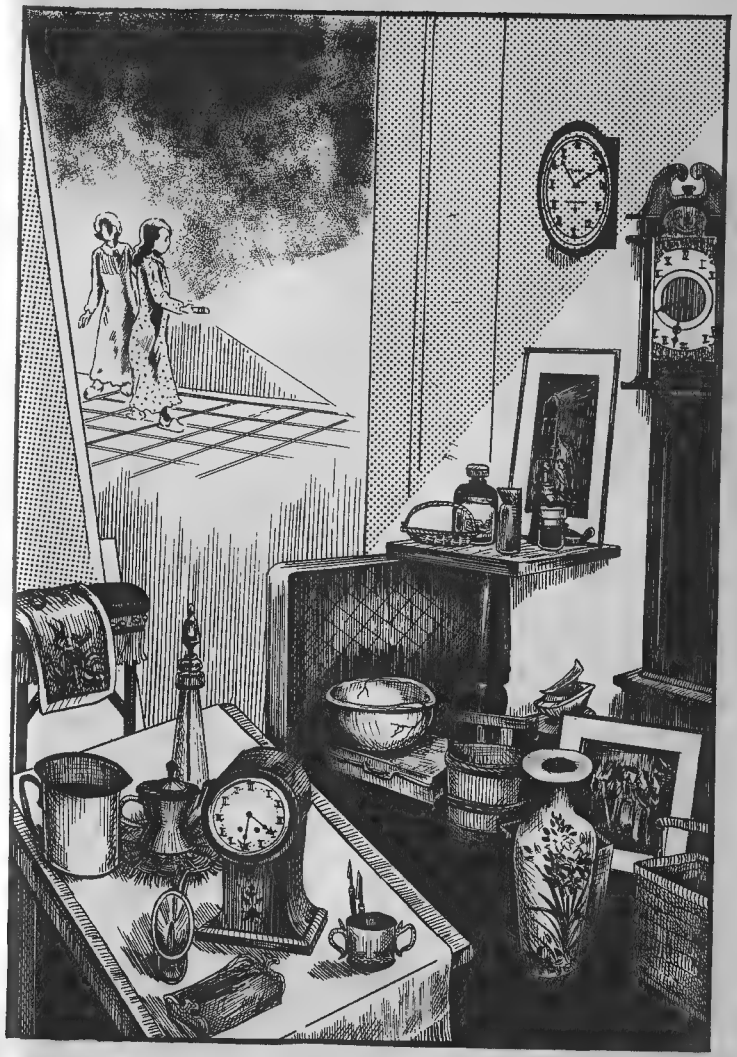
行方不明と
同時に
姿をあらわし……
そして
その顔だち
は……
子供の時の
にいさんに…
まるで
うり二つ
ばかばかしい
想像かも
しれない……
しかし……
わたしは……
兄の
研究内容を
何も知らない

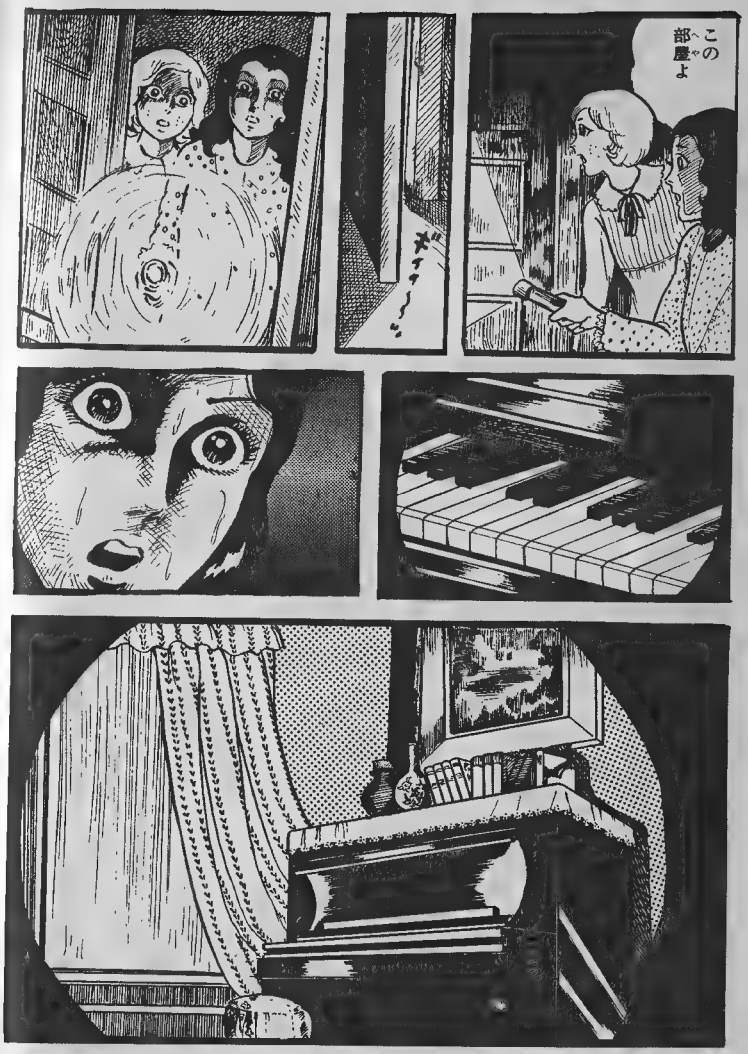
どぼぼ
!
どうしたの
かしら!
ピアノの
音だ
わ!
明子さん
おきて!
二階に
誰かが…
えっ
!
ガラガラ…


ピアノがあるのは
二階よ
とにかく
たしかめて
みましょう



ギシ
ギシ




この部屋よ
ギイイーン

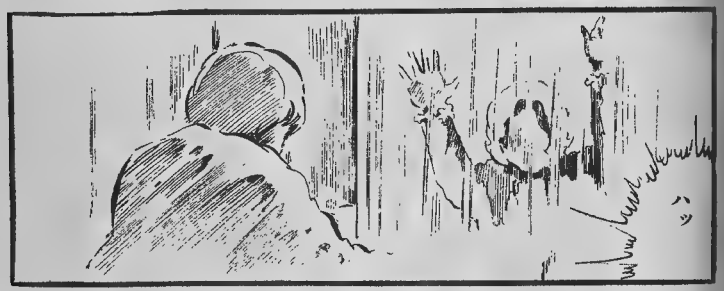
誰も
いないわ

？

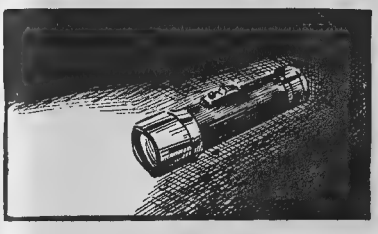
ウッ
！

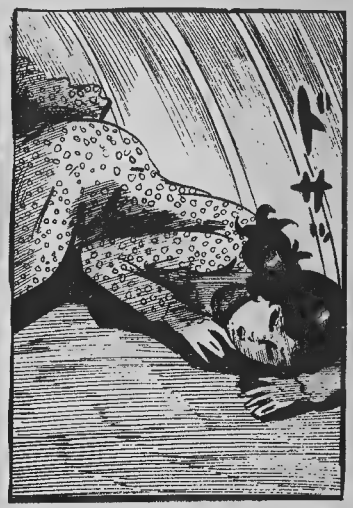
きゃあ
っ

ウ〜〜


ハッ

あっ

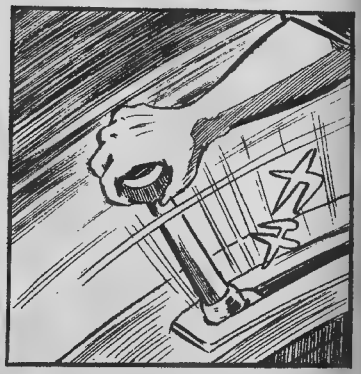



ド

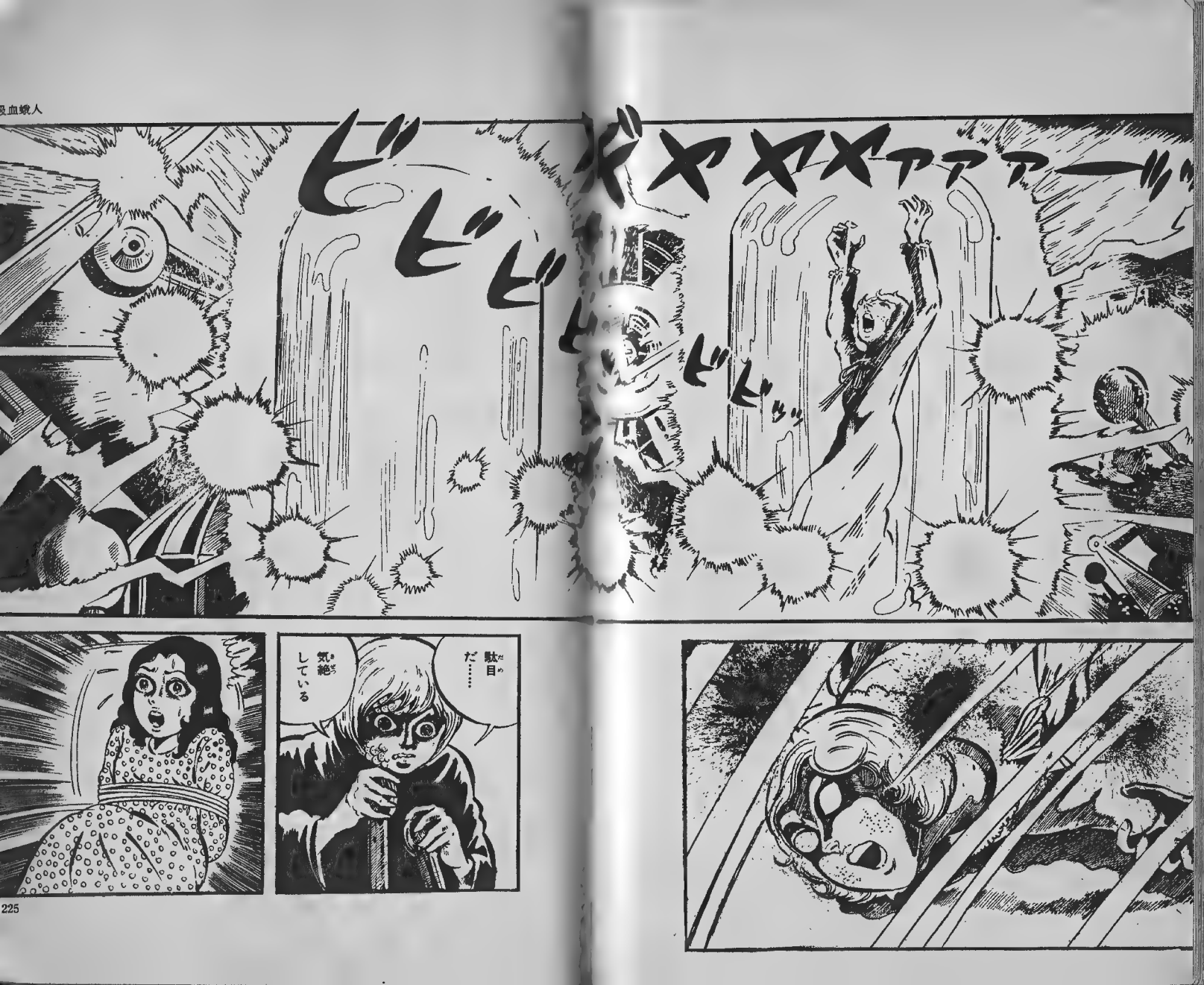
蛾と共に移動して合体した身体を元にもどす実験なんだ

やめてそんなひどいこと！

ああっ

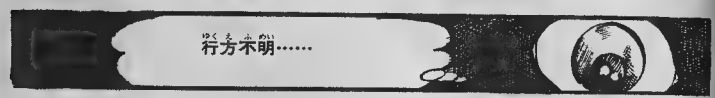


ああっ明子さん！
ちょうどいい時に……気がついたな……
これから人体実験をするところだ……


ビビビビビビビ
ギャャャァァァーッ
駄目だ……
気絶している

それは誰だ？いまどこにいる
私のにいさんよ
いまは行方がしれないけれど……

ケンタロウ……？


行方不明……

ここにあった研究日誌だが……
どうしてもわからないことがあった

器械に蛾がとびこみ姿が恐ろしく変化した――人間の知性がなくなっていくあと数日で何もかもわからなくなっていくだろう……

まさか死んだのでは！
血は吐いているが死んではいない！
分解する前にまず圧力のテストをしただけだからな

なぜそんなひどいことを……
……

あなたは誰！
ここは健太郎にいさんの実験室よ

ここまでしか書かれていないが……
このあと姿を消したままなら変化した姿に耐えられず自殺して消滅したんだろう……
ええっにいさんが自殺!!

器械にまぎれこんだ蛾というのはぼくのことで……
こんな姿になってしまった!
このままではたったの一年で死んでしまうんだ!

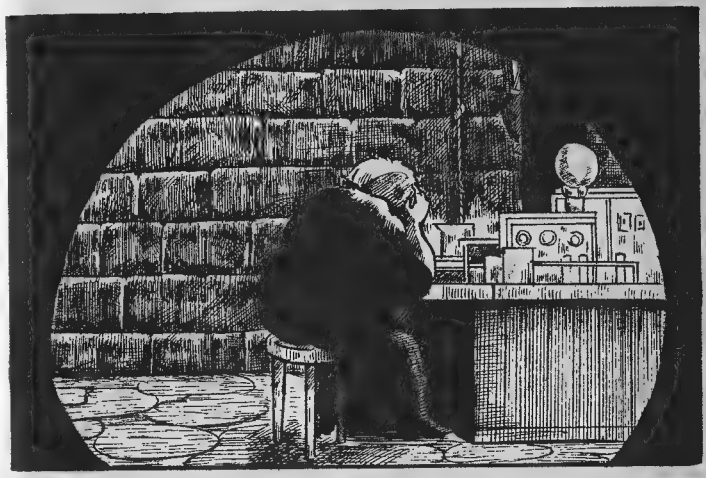
こんなみにくい姿のままでは死にたくない!
完全な人間の姿になるまで実験をつづけるんだ

そのためにつぎは鏡子お前を実験する

研究室の下にこんな地下室があったなんて……
いつかにいさんが探してくれといっていた蛾はあの赤ン坊で
いつの間にかあんな恐ろしい怪物になっていたんだ

顔が子供の時のにいさんに似ていたのは実験のせいにちがいない

もうすぐわたしも……あの恐ろしい実験のモルモットにされる……
ああ



あんな夢をみたのも……あの子がかわいがっていた妹のような気がするのも……
分解器で健太郎とまざりあったからなんだ

自分がやっていることはまちがってるのかもしれない
しかし……このままだとばけものとして死んでしまうだけじゃないか

いやだ！健太郎みたいに自殺なんかするもんか！
どんなことがあっても生きのびるんだ!!

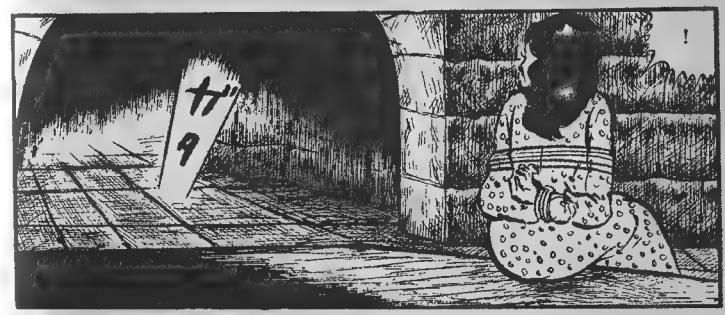
ああ あんなところに 穴が……
蛾だわ！
バタ バタ
光ったり 暗くなったり しているのは
研究室の 実験器械の 閃光のせいだ

蛾は……暗いところから明るいところへいくはずなのに
どんどん内へ入ってくるみたいだわ
上に集まった蛾が中へ入ってくるんだ
すると研究室へ……
どうして？実験の光と何か関係があるのだろうか？

そういえば以前研究室で何か起った時……

わたしと夕子さんが蛾の大群におそわれたことがあった

バタ
バタ
バタ
バタ


!
ガタ

ガタ

あっ

夕子さん!

だれがこんなことを…
あの赤ン坊よ

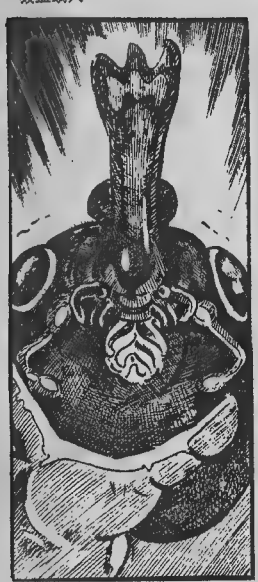
大きくなっていまではばけものみたいになってるわ!
……

明子さんも
とらわれて
いるのよ
はやく
助けないと
危険だわ
！

！

知らなかっ
たわ……
そんな恐ろしい
ことに
なっていた
なんて
ごめん
なさいね
わたしは……
あの子を
かばうこと
しか……
考えて
いなかった

きゃあっっ



二人とも
上にきて
もらおうか
そいつの
ばか力で
しめ殺され
ないうちに……

そいつは食物を
運んでいた女さ
一度死んだのだが
実験器で
かぶと虫と
合体させたら

生き
返って
そんな姿に
なった

命令どおりに
動くぼくの
ドレイさ……

ああ〜〜〜

ギリ
ギリ
ギリ
ギリ

器械の
調整も
できたし

お前達が
きたので
いいことに
気がついた
それは
……

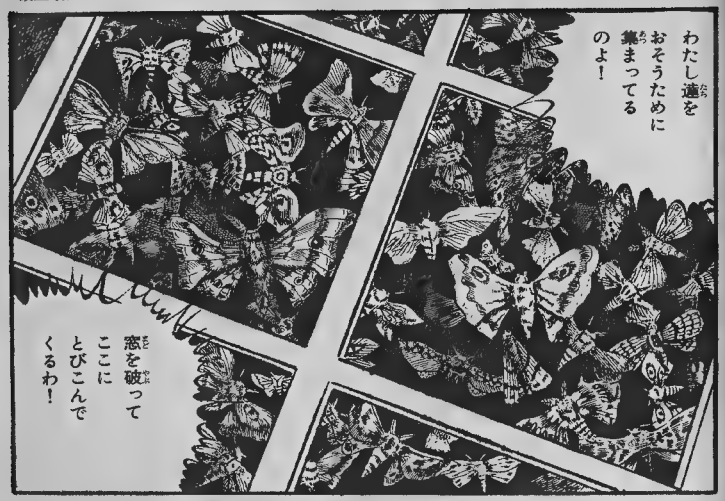
二人を
生きたまま
合体する
ことだ！

……

さあ その中へ 入るんだ！
……

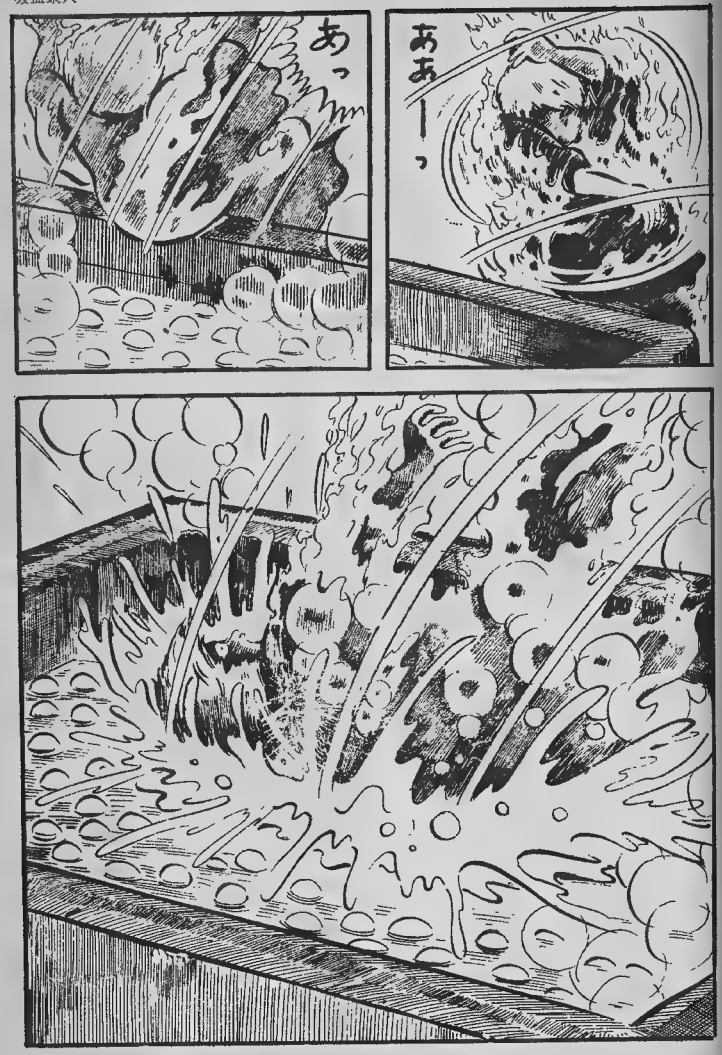
その必要は ないわ！ こんなことに なるのだったら やはり 蛾のときに 殺して おくんだった

何だと！
来ないで まだ 気がつか ないの！ ほら 窓の外を ！

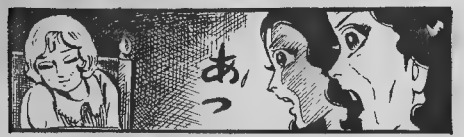

わたし達を おそうために 集まってる のよ！
窓を破って ここに とびこんで くるわ！

ば、ばかな そんな ことが！

ガッチャー
ボ
グアッ


あっ
ああーっ

ぎゃああっっ


あっ

明子さん
しっかり
して！

出口は
こっちよ
早く！

ガチャ
ガチャ

だめだ
!!
鍵が
かかって
あかない

研究室は怪物とともにあとかたもなく焼けおちてしまいました

わたし達を助けてくれたのは宏さんです

明子さんの様子を見にきて火事に気がつきドアーを破ってくれたのです

それにしても蛾の大群に二度までもおそわれるなんて……

実験中に原子となってとび散った蛾の粉が

ほかの蛾のレーダーを狂わせていたのよ

と夕子さんは言いますがわたしは……

この世には人間がおかしてはいけない……

自然の世界がたくさんあってそこへふみこんだ罰のような気がして仕方がないのです

にいさんはこのことを知っていただから「禁じられた実験」と言ったのだと思います

わたしはやさしかった兄のことを忘れることはないでしょう

これからも
ずっと……
いつも
どこかで……
やさしく
見守っていて
くれる気が
するからです

あとがき

『吸血蛾人』いかがでしたか？　文明の発達は、われわれ人間の生活に大きな貢献をしてきましたが、同時に自然環境の破壊もつづけてきました。

ふだん、気もつかぬところに棲んでいる小さな虫たちが、とつぜん、人間にむかってくる――。これは恐ろしいことですね。

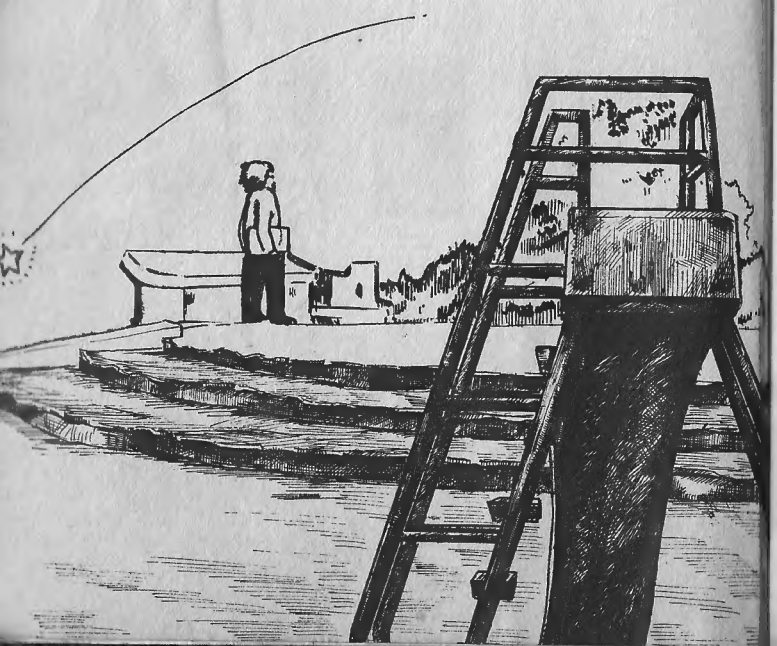
神田の書店でみつけたアメリカのペーパー・ブックの中に、面白い短篇がありました。ジョージ・ラングランの『蠅』です。カフカの『変身』もそうですが、人間が、虫と化してしまうという、このシニカルなテーマは、コミック・ライターにとっても魅力的で、一度はとりくんでみたいと思っていましたが、『蠅』を読んだ時からは、より強いものとなりました。

ところが、ストーリーを組み立て、いざ描きだしてみると、予想以上に手こずり、仲々、リズムにのれません。何度も何度も描きなおしをかさねていくうちに、だんだんと面白くなってきて、やっと、まとまったのですが、終って気がついてみると、ボツにした原稿の方が、圧倒的に枚数が多いという状態でした（たぶん、新記録）。

実験にまきこまれたために、蛾から人間となってしまった、かわいいけれど恐ろしい少年――。

作品を描いていて、これほど愛着をもったキャラクターは、私としてはめずらしいものですが、皆さんはどう思われましたか？　お友だちと話しあって、意見などがありましたら、是非、お聞かせ下さいね。

西たけろう



レモン・コミックス〈恐怖シリーズ〉

白へビ少女の呪い

浜　慎二

京子の顔に突然ひろがるヘビのウロコ！

吸血少女カレン

浜　慎二

吸血鬼にされた少女の口から流れる血！

学校で夜、幽霊が！

浜　慎二

暗い教室からきこえてくるピアノの音！

さやかと和香

森　由岐子

さやかと和香の姉妹をめぐる愛と憎しみ

幽霊少女の謎（魔女の星Ⅱ）

黒田　みのる

幽霊少女＝エリ子の足くびにあるキズ？

呪いの幽霊城（魔女の星2）

黒田　みのる

幽界から帰ってきたエリ子の運命は…？